Journal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technologists

SHIZUOKA J·O·U·R·N·A·L

Vol.17 No.1 2007（通巻166号）

目　次

巻頭言　『アクノリッジメント』…… 会長　和田　健 …… 1
会　告　平成19年度中日本地域放射線技師学術大会演題募集 …… 2
第９回 アドバンスドセミナー単位認定試験開催 …… 3
第３回 放射線技師のためのセミナー …… 4
第９回 乳腺画像部会研修会 …… 5
第40回 超音波部会研修会 …… 6
第26回 MRI部会研修会 …… 7
お知らせ　(社)日本放射線技術学会第42回中部部会学術大会について …… 8
(社)日本放射線技師会会費納入期限の改正について …… 9
管理士部会セミナー名称変更について …… 10
おめでとうございます　松本賞／永年勤続表彰 …… 11
報　告　第32回（社)静岡県放射線技師会通常総会
第12回 静岡県放射線技師学術大会 …… 12
第64回（社)日本放射線技師会定期総会 …… 14
静岡県放射線技師研修会 …… 16
肺がん検診従事者講習会 …… 18
学術論文　静岡県放射線技師研修会
『放射線技師のミッションとは』 …… 19
(社)静岡県放射線技師会　会長　和田　健
『好感／安心感をもたれるマナーについて』 …… 24
中北薬品(株)　マナーインストラクター　北原百合子　先生
生涯教育アンケート調査の結果報告 …… 28
医療安全推進委員会だより② …… 34
病院紹介　東部『伊豆保健医療センター』 …… 36
平成19年度 第１回理事会議事録 …… 49
第32回（社)静岡県放射線技師会通常総会　議事録(抄) …… 53

S.A.R.T 社団法人 静岡県放射線技師会

巻　頭　言

『アクノリッジメント』

(社)静岡県放射線技師会　　会長　和田　　健

アクノリッジメントとは「承認すること」と英和辞典で引くと書かれている。「ほめる」というのも当然この承認の中に含まれる。人がどんな貢献をしたのかを覚えていて、それを明確に言葉にして伝えてあげることや、一人ひとりに関心を示し贈り物をすることなども承認です。それ以外にも声をかける、挨拶をするといった何気ない日常のやり取りに至るまで、「私はあなたの存在をそこに認めている」ということを伝える全ての行為、言葉が承認にあたりそれが英語ではアクノリッジメントなのです。

アクノリッジメントの種類に優劣があるわけではありませんが、やはり「任せる」はスーパーアクノリッジメントだなと思う。因みに任せるというのは押し付けるのとは違います。任せるというのは、箸の上げ下げまで指示するのではなく、相手の裁量で進められる部分をきちんと与えて仕事を振ることである。そして最終的な責任はこちら側が取るというスタンスでいって初めて任せるという行為が発生する。任せられると、ものすごく自分の存在が際立ちます。この集団の中で必要とされていると感じられるし、協力の輪の中に確かに組み入れられているんだなと思います。だから多少忙しくなったとしても、内側のざわつき、つまり一人になってしまったらどうしようという不安は減るわけです。

人がいちばん疲れてしまうのは、周りから認められているかどうかに自信がなく、その確信を得ようと躍起になってしまう時です。その瞬間は内側が騒がしいまま体にも鞭打ちますから結構つらいものです。でも任されたんだと思える時は違います。

この「任せる」というのは、言葉で言うのは簡単ですが実践するのは実はとても難しいものです。任せる側としては、自分に経験や知識があればあるほど、なかなか簡単には任せられないわけです。中には「任せるのが良いと思ってとりあえず任せたが、途中でいろいろ気になるからつい口を出しちゃうんですよね」などと言う方もいる。その人に決して悪気はないわけですが、これはすごくまずいのです。喉から手が出るほどおもちゃが欲しくて、ずっと手に入るのを心待ちにしていた子供に、それが手に入った瞬間やっぱり返してと言っておもちゃを取り上げてしまうようなものです。これをやってしまうと部下のモチベーションは一気に下がり、上司に対する信頼は失われてしまいます。

任せるのがうまい上司は、常日頃から部下に何を任せられるのかを一生懸命探している。このレベルにいるのだからこれなら任せられるというものを何気ない観察の中で模索している。もし失敗してもそれは部下の成長にとって大いに役立つだろうというものを探している。真剣な眼差しで「頼んだぞ」、「任せるぞ」と言い切っているのです。皆さんは、今の部下に何を任せることができるでしょうか。

（参考書籍　「ほめる」技術　鈴木義幸著）

会　　告

平成19年度 中日本地域放射線技師学術大会 演題募集

標記学術大会が当番県 愛知県名古屋市にて開催されます。つきましては、一般研究発表を下記のように募集いたします。多数の応募をお願いいたします。

記

日　　時：平成19年11月17日(土) 13:00 ～
　　18日(日) ～ 12:00
会　　場：愛知県産業貿易館　西館　10F
　　〒460-0002
　　愛知県名古屋市中区丸の内2-4-7　TEL　052-231-6351
参加登録費：1,000円
主　　催：中日本地域放射線技師会
後　　援：(社)日本放射線技師会
当 番 県：(社)愛知県放射線技師会

【演題募集】

1．発表形式

1）発表時間　口述　7分

2）PCでの発表に限ります。PCはご自身のパソコン持ち込みで、1画面映写とします。念のため、記憶媒体（CD-RあるいはUSBメモリ）にてファイルをご持参ください。

2．応募要領

1）発表者・共同研究者はすべて（社)日本放射線技師会会員であること。

2）次の事項を添えて、E-メールにて申し込むこと。
演題名，所属，発表者・共同研究者氏名，
発表抄録〔800字程度で目的、方法結果、結論(考察)ごとにわかりやすく記述〕

3）申込締切　平成19年9月15日(土)

4）申 込 先　〒467-0807　名古屋市瑞穂区駒場町5-15-5　ハイライズ瑞穂2C
(社)愛知県放射線技師会
メールアドレス　office@aart.or.jp

3．その他

演題は申し込み順に受付けますが、発表内容によって発表をお断りする場合もありますので、予めご了承ください。

会　　告

第9回 アドバンスド放射線技師格取得のためのセミナー単位認定試験開催

下記の通り、認定試験が予定されています。受験者は、日放技ホームページの会員用システム「イベントへの参加」より諸手続きを行い、受験されますようお願いいたします。

記

【要　　旨】 アドバンスド単位認定試験

【日　　時】 平成19年10月7日(日)

【場　　所】 2箇所で実施

＊ 掛川市立総合病院　講堂
(掛川市杉谷721番地　　電話　0537-22-6211)

＊ 富士市立中央病院　大会議場
(富士市高島町50番地　　電話　0545-52-1131)

【時 間 割】

受付開始	9:30～	(各科目試験開始15分前より)
試験日程	10:00～11:00	医療安全学
	11:15～12:15	救急医療学
	13:15～14:15	医　療　学
	14:30～16:00	看　護　学

試験はマークシート方式ですので、筆記用具は必ず持参してください。
詳細につきましては、日本放射線技師会ホームページ又は会誌にてご確認ください。
質問事項は下記まで
FAX：03-5405-3613　　Mail：ad_info@jart.or.jp

＊ アドバンスド単位認定試験は会員個々が直接日放技に受験の申請をしていただきます。
ADセミナーに出席しても自動的に受験となりませんのでご承知ください。

会　　告

第3回 放射線技師のためのセミナー開催

第３回放射線技師のためのセミナーを下記の通り開催いたします。

今回は医用画像情報管理に関した企画で会員発表にオーダーリングを含めた電子化の構築、画像管理の運用実態報告をお願いしています。また特別講演として国際医療福祉大学放射線医学センター画像診断部門　准教授の小野木雄三先生に「画像情報システム　－ネットワーク・RIS・連携－」をご講演いただきます。

放射線技師のためのセミナーの対象は、静岡県放射線技師会全会員です。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

— 記 —

【日　　時】　平成19年６月30日(土) 13:30 ～ 17:00 (受付13:00 ～　　)
【場　　所】　藤枝市立総合病院　講堂
　　藤枝市駿河台４－１－11　TEL 054-646-1111
【参 加 費】　1,000円
【内　　容】

13:30 ～ 14:00　最新機器技術講演
　①『放射線部門システムの現状と将来』　(15分)
　　東芝メディカルシステムズ(株)　中部支店営業推進部　網代　啓志 先生
　②『フィルムレス運用に向けての画像管理について』　(15分)
　　シーメンス旭メディテック株式会社　HS事業本部　上岡　由典 先生
14:00 ～ 15:20　会員発表
　①「御前崎病院のフィルムレス運用について」　(20分)
　　市立御前崎病院　永田　素広 会員
　②「富士宮市立病院の画像情報システム構築の状況と課題」　(20分)
　　富士宮市立病院　玉田　宏一 会員
　③「掛川市立総合病院の画像情報システム構築について」　(20分)
　　掛川市立総合病院　中山　　修 会員
　質疑、ディスカッション　(20分)
15:20 ～ 15:30　休　　憩　(10分)
15:30 ～ 17:00　特別講演　(90分)
　『画像情報システム　－ネットワーク・RIS・連携－』
　国際医療福祉大学　放射線医学センター
　　画像診断部門　准教授　小野木雄三 先生

(社)静岡県放射線技師会　管理士部会

＊ 技師会員はIDカードをご持参ください

会　　告

第9回 乳腺画像部会研修会開催

第９回乳腺画像部会研修会を下記のとおり開催いたします。

今回は、藤枝市立総合病院 放射線診断治療科 五十嵐 先生を迎え、超音波画像やMMGの読影を丁寧に分かりやすく教えていただきます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

記

【日　　時】　平成19年７月７日(土)　13:55～

【会　　場】　静岡済生会総合病院　講堂
〒422-8527　静岡市駿河区小鹿１丁目１番１号
TEL　054-285-6171

【参 加 費】　1,000円（放射線技師の非会員 5,000円、但し、入会希望者は除く）

【内　　容】

13:55～14:00　挨　　拶

14:00～14:30　講 演 ①
『新商品の紹介と最近のマンモグラフィの動向』
東芝メディカルシステムズ株式会社

14:30～15:00　講 演 ②
『撮影時の受診者の立場を考えた撮影法について』
聖隷予防検診センター
放射線科　斎藤　　忍 会員

15:00～15:15　休　　憩

15:15～16:15　特別講演
『症例から学ぶマンモグラフィの読影』
MMG，超音波所見の基礎からステップアップまで
藤枝市立総合病院
放射線診断治療科　五十嵐達也 先生

＊ 技師会員はIDカードをご持参ください。

会　　告

第40回 超音波部会研修会開催

今回の超音波部会研修会は第40回を記念しまして、大垣市民病院消化器科部長 熊田　卓先生に「肝疾患の超音波診断（仮題）」のご講演をお願い致しました。また、初心者を対象に部会長 秋山敏一会員が「腹部超音波検査のツボ」の講演をいたします。会員の皆さんには、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

【記】

【日　　時】　平成19年７月21日(土) 13:30 ～ 17:00
【会　　場】　静岡済生会総合病院　北館講堂
静岡市駿河区小鹿１-１-１　電話054(285)6171
※ 駐車場はございますが、有料です。公共交通機関をご利用下さい。
【参 加 費】　1,000円

～ プログラム ～

メーカー発表
１）13:30 ～ 13:45　「超音波診断装置SSD-ALPHA10における最新技術」
アロカ株式会社　　鈴木　秀樹 氏
２）13:45 ～ 14:00　「超音波診断用造影剤ソナゾイドについて」
第一三共株式会社　　竹中　康悟 氏

会員発表
３）14:00 ～ 14:50　『腹部超音波検査のツボ』
藤枝市立総合病院　超音波科　　秋山　敏一 会員

休憩10分

症例報告
４）15:00 ～ 15:10　「当院における急性腹症の１例」
静岡済生会総合病院　放射線技術科　　増田　和道 会員
５）15:10 ～ 15:20　「超音波検査で発見された食道癌　心筋浸潤の１例」
清水厚生病院 放射線科　　吉田　忠尚 会員
６）15:20 ～ 15:30　「後腹膜腫瘍の１例」
掛川市立総合病院 放射線室　　春田　孝博 会員

特別講演
７）15:35 ～ 17:00　『肝疾患の超音波診断（仮題）』
大垣市民病院　消化器科部長　　熊田　　卓 先生

協賛　第一三共株式会社
アロカ株式会社

＊ 技師会員はIDカードをご持参下さい。

会　　告

第26回 MRI部会研修会

標記研修会を下記日程にて開催いたします。
今回は、女性骨盤領域についての研修会を企画しました。前年度同様臨床医による教育講演を予定しております。基礎講座は原点に立ち返ることを目的に、緩和過程とコントラストの成り立ちについて勉強したいと思います。
皆様奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

記

【日　　時】　平成19年9月8日(土)　14:30～17:30（予定）
【会　　場】　静岡赤十字病院　別館4階　会議室
〒420-0853　静岡市葵区追手町8-2　TEL 054-254-4311
公共交通機関をご利用ください
またお車で御来場を予定されている方は、お近くの有料駐車場をご利用下さい

【内　　容】　14:30～15:30　教育講演
『婦人科疾患の診断から治療まで』（仮題）
静岡赤十字病院　婦人科　副部長　　根本　泰子 先生

15:35～16:35　基礎講座
『緩和過程とコントラストの成り立ち』（仮題）
GE横河メディカル株式会社

16:40～　　会員発表　各施設10分
女性骨盤領域の検査について

SIEMENS	順天堂静岡病院	長谷川公彦 会員
GE	焼津市立総合病院	村松　晴幸 会員
東芝	藤枝市立総合病院	松岡　靖彦 会員
PHILIPS	榛原総合病院	高橋　　真 会員

【参 加 費】　会員・他職種　1,000円

＊ 技師会員はIDカードをご持参ください

お知らせ

(社)日本放射線技術学会
第42回中部部会学術大会の一般演題募集について

平成19年6月27日

社団法人　静岡県放射線技師会

会　　長　和　田　　健

《公　印　省　略》

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営に関しまして、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、(社)日本放射線技術学会第42回中部部会学術大会が、浜松市において平成19年11月10～11日に開催されます。今回、この学術大会に(社)静岡県放射線技師会は共催致すことになりました。

つきましては、(社)日本放射線技術学会中部部会に未入会であっても、静岡県放射線技師会会員であれば、一般演題の発表を行えることとなりましたので、お知らせ致します。

尚、一般演題発表等の募集につきましては、(社)日本放射線技術学会中部部会から、おこなわれます（9月初旬を予定）のでご承知下さい。

中部部会のホームページ（http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/）

(社)日本放射線技術学会のホームページ(http://www.jsrt.or.jp)

お知らせ

(社)日本放射線技師会 会費納入期限の改正に基づく (社)静岡県放射線技師会の対応について

現　状：会員から日本放射線技師会費・静岡県放射線技師会費総計25000円の振り込みを確認後，静岡県放射線技師会費(10000円)を差し引いた15000円を日本放射線技師会に対し静岡県放射線技師会が振り込み手続をしています。

改正点：日本放射線技師会の会費納入規定が平成20年度より前年度末の納入に変更されます。

(社)静岡県放射線技師会として

19年度の対応

1.) 19年度会費25000円を8月末までに納入していただく。(従来通り)

2.) 20年度会費25000円を20年3月末までに納入していただく。
ゆえに19年度は2回納入になります。

20年度以降の対応

翌年度会費を前年度末（3月）に25000円を納入していただく。

例　21年度会費 → 21年3月納入
　　22年度会費 → 22年3月納入
　　23年度会費 → 23年3月納入
　　・
　　・
　　・

(社)日本放射線技師会の会費納入期限改正のため(社)静岡県放射線技師会と致しましては納入期限の変更を上述のように会員にお願いする所存です。どうか御理解くださるようお願いいたします。

お知らせ

管理士部会セミナー名称の変更について

平成18年度より新しく立ち上がった管理士部会として、2回の研修会を開催してきました。ご参加、ご協力を頂いた会員のみなさまには感謝申し上げます。

さて、このたび参加していただいた会員の中から研修会名称が社団法人日本放射線技師会認定の放射線管理士、放射線機器管理士、医用画像情報管理士を取得している者のみのセミナーであると認識している会員が複数おり、研修会名称を変更してはどうかという意見を多数いただきました。

管理士部会セミナー名称を、放射線技師管理士部会セミナーから"放射線技師のためのセミナー"に変更させていただくことをご報告申し上げます。

今後とも管理士部会をよろしくお願いします。

記

【要　　旨】　管理士部会セミナー名称変更

【名　　称】　放射線技師管理士部会セミナー（旧）
↓
放射線技師のためのセミナー（新）

以　上

(社)静岡県放射線技師会　管理士部会

おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

和田　　健（浜松南病院）

松 本 賞

秋田　富二代（静岡県立静岡がんセンター）

社団法人　静岡県放射線技師会　永年勤続表彰者

《永年勤続35年表彰》　8名

上野　良雄　伊豆箱根鉄道健康保険組合診療所
清水　正義　市立御前崎総合病院
淺野愉喜夫　浜松市リハビリテーション病院
生座本義廣　県西部浜松医療センター
神能　俊一　県西部浜松医療センター
大石　正雄　静岡県立総合病院
安間　　武　磐田市立総合病院
髙橋　修司　磐田市立総合病院

《永年勤続20年表彰》　15名

長谷　守照　八木医院
杉村　俊樹　焼津市立総合病院
瀧井　達志　焼津市立総合病院
杉山　哲一　沼津市立病院
岩田　敏秀　富士宮市立病院
大原　　明　沼津市立病院
髙橋　則和　順天堂大学医学部附属静岡病院
小栗　徳彦　袋井市立袋井市民病院
土井　良高　袋井市立袋井市民病院
小山　雅之　社会保険浜松病院
加藤　宏幸　社会保険浜松病院
本田　正英　常葉学園常葉リハビリテーション病院
酒井　章雄　社会保険桜ヶ丘総合病院
廣畑　一哉　社会保険桜ヶ丘総合病院
橋本　和明　国際医療福祉大学熱海病院

（敬称略　会員番号順）

第32回（社）静岡県放射線技師会通常総会
第12回 静岡県放射線技師学術大会

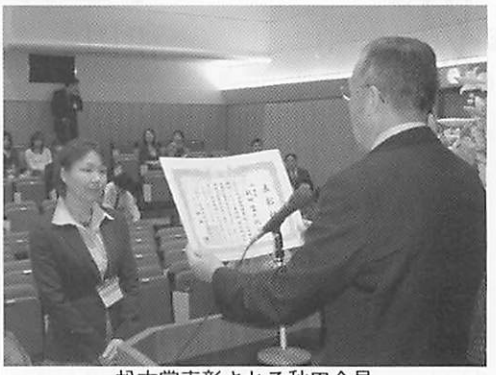
平成19年5月27日（日）
浜松市地域情報センター

平成19年５月27日（日）浜松市地域情報センターにて第32回静岡県放射線技師会通常総会・第12回静岡県放射線技師学術大会が五月晴れの好天の中開催されました。

通常総会は、69名の参加があり、原田晴二運営委員の司会により進行されました。会長挨拶では日本放射線技師会で問題となっている定款改正、免許更新等は個人の問題ではなく職能団体として取組んでいく必要があると述べられました。

和田会長挨拶

表彰では、永年勤続35年８名、20年15名、そして松本賞の表彰があり、会への貢献と研鑽が称えられました。松本賞を受賞した秋田富二代会員（静岡県立静岡がんセンター）は、マンモグラフィ部門での研究発表を数多くされている。一方、乳腺画像部会では中心的存在として活躍され、静岡県マンモグラフィ撮影技術事前講習会では講師を務めるなど、当県のマンモグラフィ技術取得の研修における功績が認められての栄誉となりました。



松本賞表彰される秋田会員

その後、議事に移り平成18年度事業報告、決算報告、監査報告がされ、会場からは静岡県放射線技師会の方向性について、定款改正について等の質疑応答がありましたが、全ての議案は賛成多数で可決されました。議事終了後、前日に行われた第64回（社）日本放射線技師会定期総会の報告が村田副会長より行われました。

通常総会

引き続き学術大会となりました。今回は会員発表18演題、委員会報告２演題があり５つのセッションに分かれ発表が行われました。会員研究発表午前の部では、セッションⅠ 放射線管理４演題、

セッションⅡ CT・MRI・US 4演題、セッションⅢ X線撮影・その他 3演題が発表され、午後の部では、セッションⅣ 乳腺 5演題、セッションⅤ RI 2演題の発表があり、その後委員会報告が2題ありました。

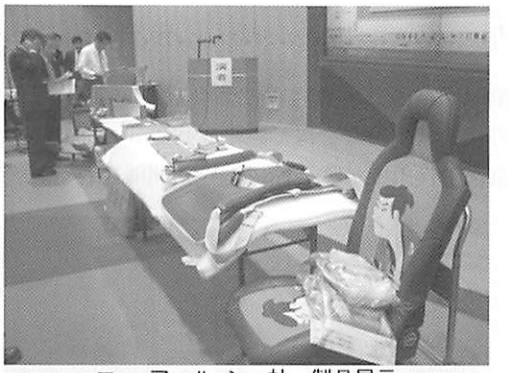
いずれのセッションでも活発な討議がされ熱気溢れる学術大会となりました。

学術大会　会員研究発表

会員研究発表の間に行われた公開講演では、「車文化と環境」と題し、(株) エー・アール・シー代表取締役社長の田中裕二氏にご講演いただきました。自社の活動の様子から現代のエネルギー問題、地球温暖化等に車の改造メーカーとしてどのように取り組んでいるのか、今後の方向性も含めての話がありました。その取り組みの中で自動車用シートが人体に優しい特性を持っていることから福祉介護用品への応用を思いつき、製品化してきたことをお話いただきました。

(株)エー・アール・シー　田中　裕二 先生

また、車椅子、マット等展示品も用意していただき講演終了後は、多くの人が電動車椅子を動かしたり、マットに触ったりしていました。



エー・アール・シー社　製品展示

全体の参加者は、145名(会員137名　賛助会員8名)と多くの方に参加していただきました。

会員の皆様のご協力により、無事大会を終了することができましたことを感謝申し上げます。また大会役員の皆様におかれましては早朝からの準備、運営、片付けまで本当にお疲れ様でした。今後もこのつながりを大切にして、この会がますます発展していくことを期待します。

(学術理事　山本英雄)

第64回（社）日本放射線技師会定期総会

平成19年5月26日（土）
会場：東京都　星陵会館

第64回（社）日本放射線技師会定期総会が、192名の代議員の出席を得て、平成19年5月26日（土）東京都千代田区星陵会館において開催された。

静岡県からは、和田会長・古郡副会長・村田副会長・伊藤副会長・金刺総務理事・神山総務理事の6名が出席し小川副会長の開会宣言の後、熊谷会長あいさつで昨年に総理直轄の審議会の答申として医療資格者の免許更新制度を行うという方針が出てそれに基づき具体的な検討に入るということになり本会においては、4年前から行っている生涯教育システムを基に政府の動きに対応していきたいと挨拶があった。

引き続き表彰委員会報告があり功労賞2名、50年勤続表彰24名、30年勤続表彰242名、厚生労働大臣表彰者が承認され表彰された。

その後、資格審査委員長より192名の代議員の出席のもと本総会が、成立したと報告があり議長として北海道の今井会員と福岡県の中村会員が選出され総会が開催された。

第1号議案　平成18年度庶務報告

平成18年度の物故者は、40名と報告がありご冥福を祈り出席者全員で黙とうした。

第2号議案　平成18年度事業報告

平成18年度は、医療法の改正・がん対策基本法の成立等があり政府の規制改革民間開放推進会議の答申では、医療資格者の免許更新が明確に示された。

この先、免許更新を念頭におくと医用画像情報管理士については、国際専門放射線技師認定の標準化の環境整備を進めたい。また将来展望を考えればレントゲン手帳の普及や診療放射線技師受験資格を現在の3年制教育受験資格から4年制以上の資格に持って行かないと将来がないと思うと報告があった。

第3号議案　平成18年度決算報告

新公益法人会計基準を基本に取り入れ財務処理の簡素化を図り企業会計基準（キャッシュフロー）方式を採用し、収支計算書の報告があった。

第4号議案　平成18年度監査報告

伊藤宰監事、山本一雄監事より指摘すべき事項は、認められないと報告があった。

以上第1号議案から第4号議案につき各々承認を諮ったところ賛成多数で可決された。

第5号議案　平成19年度事業計画

今年度は、「改正医療法」と「がん対策基本法」が、施行され両法律ともに診療放射線技師の重要性が明記され、医療機器の安全管理に関する提言と要望の趣旨が、取り込まれている。

また医療被ばくの提言についても関連事業の運用を展開し国民の期待に応えていきたいと報告があった。

また、診療放射線技師免許更新に伴い現在の東京事務所の隣の事務所を購入し研修室として活用していきたいと思っています。

第6号議案　平成19年度予算案

平成18年度決算報告に倣い報告があった。

＊以上報告について、意見・質問無いか伺ったところ

質問：事務書類デジタル化経費ですが、1800万円計上されておりますが、これで何年分が保存できるのでしょうか？

答え：当会の歴史でもある書類ですし、おろそかにできませんので何年掛かるかわかりませんが、閲覧も可能となりますので、御了解をお願いいたします。

質問：医療法改正に伴い、医療機器の安全管理等に関して教育現場においては実習項目がないので是非是正していただくよう働きがけをしていただきたい。

答え：法改正に伴い不備な点が、多々ありますので少しずつ是正していきたい。

質問：生涯教育に関するADセミナーの位置づけを教えていただきたい。

答え：放射線各種技能検定を基本に考えアドバンス資格以上の会員に対し受験資格を与える方向でありますので是非アドバンス資格を取得してほしい。

要望：通常総会に立会人、傍聴人等を受け入れてもらえるような会にしていただきたい。

要望：新入会員を促す意味でも新入会者の制限(会費等)を和らげたり学生会員も学術大会等に参加できるようにしたりして将来を担う若者の会員を増やすよう考えていただきたい。

答え：今後定款改正に伴い学生会員も含めた位置付けを考えていきたい。

以上第5号議案及び第6号議案につき各々承認を諮ったところ賛成多数で可決された。

第7号議案　定款改正について

資格審査委員長より書面表決・委任状の審査を行い、平成19年3月31日現在、会費完納者の会員数は、28949名であり本日9時現在での有効表決数は22490票で会員の2/3以上の票決数より定款改正の総会は、成立したと報告がありました。

結　果：賛　　成　12691票
　　会長委任　7386票
　　反　　対　1939票
　　無　　効　474票

以上より第7号議案は、承認されました。

最後に平成19年度テーマ

『国民から見える職業へがん診療のエキスパートとして』

を拍手を持って採択され議事全部を終了し、閉会した。

（総務・庶務理事／神山　司）

平成18年度 放射線技師研修会

平成19年3月11日(日) 13:00～17:00
もくせい会館

和田　健会長が、『放射線技師のミッションとは』と題し、以下8項目を挙げ講演を行った。

1）組織への参画　日放技の綱領、『奉仕・チーム医療・専門分野の責任・常に学習・インフォームド・コンセントの実践』これらの再認識が大事である。

2）チーム医療でのリーダーシップ　リーダーには、専門技術・人間をリードする技術・概念・構想・着想・考案に優れた技術が大事で、放射線技師にもチーム医療でのリーダーシップを期待する。

3）最新医療情報の収集　先般、がん対策基本法が整備・推進され、がん診療連携拠点病院や胃がん検診の見直し等、我々の業務にも関わってくる。常に最新医療情報の収集が必要である。

4）医療経済　今後DPCによる包括評価や医療連携・クリティカルパスが進むと思われる。しかし、DPCは病院によって診療報酬点数が異なるため、何が包括され何が出来高として残るのか、放射線技師も知る必要がある。

5）リスクマネージメント　全国的に常勤放射線科医は少なく、看護師が造影剤静注を行っていると思われる。我々も造影剤副作用について認識し、安心・安全な医療の提供が望まれる。また、新聞投書のあった放射線技師への苦情を例にあげ、検査時のインフォームド・コンセントや患者接遇・コミュニケーションの大切さについて言及した。

6）生涯教育・認定制度　国民のニーズに応える医療人・技師として生涯教育・認定制度の大切さを述べ、将来放射線技師の免許更新制の可能性に触れ、認定制度やADセミナーの必要性を訴えた。

7）災害緊急時への支援システム　日放技が進める災害時緊急連絡網の構築に静放技も参画。原子力・テロ等災害緊急時への支援を行う。

8）公益法人制度改革　日放技は、公益法人制度改革に対応するため定款改正が必要であり、会員に委任状提出を強く訴えた。

中北薬品　マナーインストラクター　北原　百合子氏が、『好感・安心感を与えるマナーについて』と題し、前半は講義・後半に実技が行われた。患者さんに選ばれる病院の3要素として、①質②価格　③人・接遇があり、③の人・接遇についてマナーの基本講義があった。

患者さんにとって病院の印象は、病院の清潔感や医師・看護師そして事務や我々放射線技師のスタッフの応対・接遇が挙がるのではないか。病院では、毎日が患者さんと初対面の繰り返し・第一印象の繰り返しである。

第一印象は6～7秒で決まり、その後2年間続く・80%は外見・身だしなみとの事。身だしなみは清潔感が大事で、例えば洗ったハンカチは清潔でも、くしゃくしゃのハンカチに清潔感は無い。つまり相手から見てどうか・良いと感じられるか？否か、が大切である。先に自分から笑顔で挨拶することで、好感・安心感を与え良い第一印象につながる。基本は笑顔で、表情のポイントは目と口である。言葉遣いは、相手を気遣うという気持ちを込めた良い言葉遣いを心がけて頂きたい。

参加者は各自、さわやかマナー度や身だしなみをチェック表に基づき、客観的な自己診断ができた。また、検査室での患者さんとの応対は、分かりやすい言葉で検査・更衣の説明をし、同意を得て欲しい。検査中・検査後の声掛けも大切である。また患者さんに何か依頼する場合、《スミマセン》の一言で表現のバリエーションが無いようだ、やわらかい表現をもっと取り入れて欲しいと講師より指摘があった。

後半は、実例に即した3事例のロールプレイングを行なった。参加者はトラブルに対応するスタッフや患者さんの気持ちを汲み役割を演じる事で、良い点や改善点について意見交換ができた。

（企画調査理事／大川宏人）

平成18年度肺がん検診従事者講習会

平成19年3月17日(土)
静岡県医師会館6階第1会議室

平成19年3月17日(土)、静岡県医師会館に於いて「肺がん検診従事者講習会」《静岡県対がん協会と本会主催、(社)静岡県医師会後援》が開催された。本会会員34名・医師会関係者58名で合計92名の参加があった。講師は、静岡県立静岡がんセンター内視鏡科医長の遠藤正浩先生を招き『肺がん検診：症例から学ぶ胸部単純写真の読影―検診で発見された肺がん症例を中心に、胸部単純写真の読影、盲点、見落しなど―』と題し胸部単純写真とCT画像とPET画像等を用いて豊富な症例を丁寧にわかりやすく説明された。

まず、遠藤先生より肺がんで死亡する人は、日本人の罹るがんの中ではトップクラスにあり、日本人のタバコの喫煙率も欧米に比べ高くなっている現状から考えて、今後20年は肺がんでの死亡率は下がらないだろうといわれている。また、肺がんの罹患率を下げるには今日本で行われている禁煙指導が一番期待できるが、その効果が現れるのも20年後といわれている。このような状況下で肺がんの死亡率を下げるには、検診などにより早くがんを見つけ手術をするのが有用である。

当院の2005年度の肺がんの新患は367人でそのうち検診で見つかった方は105人、直接CT検査を受けて見つかった方は14人、開業医に通院していて見つかった方（他病経過中）は72人、呼吸器疾患の患者より123人、その他53人でほぼ1/3は検診で発見されているが、この検診の内1/3は進行がんであった。これは、肺がんが発見されにくいことを証明しているのかもしれない。また肺がんがいろいろな形態をとるため胸部X線写真を撮っても見落としが多いことが最大の理由である。

この原因として

・撮影条件の不良
・陰影が小さい　もしくは淡い
・陰影が他臓器と重なる
・他疾患と思い込む

以上のようなことが考えられる。

また、肺がんを見つけた写真を前回写真と比べると8割の写真で何らかの指摘ができ欧米の論文でも4割の写真で指摘可能のとの報告があるので経年検診・比較読影が非常に大切であると考えられる。その一方で、影が指摘できていても比較すると変化していないからと判断されしばらく放置される例もあるので読影者の力量（認識）も上げていくことが必要である。

胸部写真において異常であるということを認識するには、人間が物を見るときに目の網膜の中心で見る中心視として見るのか、辺縁視で見ているのかによっても変わってくるが、バランスが問題で中心視では写真上の濃淡の差がついている所を見るのに適していて、辺縁視では淡い影を見るのに適している。

中心視；解像度が高い、視野角狭い（3～5度）
　　物体の明瞭な輪郭や辺縁、奇異に映る対象が中心視されやすい。

辺縁視；解像度が劣る、視野角広い（240度）
　　均一な構造の読影によい。

以上のような読影の見落としに関する細かな点を、多くの症例を挙げながら詳しく話された。

また、がん検診の立場からは、がんの死亡率を減少させなければならず、そのためには受診率の向上と精度管理をしていくしかないが、欧米に比べ受診率は低く精度管理は地域差があるのが現状である。

今後の課題として胸部単純X線写真では、精度管理と受診率の向上であり、胸部CTについては、発見率の向上だけでなく死亡率減少に強く貢献しているという研究を多く発表していかなければならない。また、がん検診の立場から個人情報保護に対して過剰にならない適切なシステムの構築等が挙げられていた。

肺がんを早期に発見していく上で非常に有意義な講習会であった。

（常任理事／金刺明男）

平成18年度 静岡県放射線技師研修会

『放射線技師のミッションとは』

(社)静岡県放射線技師会
会長　和田　　健

1

ミッションとは

- 組織への参画
- チーム医療でのリーダーシップ
- 最新医療情報の収集
- 医療経済
- リスクマネージメント
- 生涯教育・認定制度
- 災害緊急時への支援システム
- 公益法人制度改革

2

社団法人　日本放射線技師会 綱　領

一. わたくしたちは, 医療を求める人びとに奉仕します

一. わたくしたちは, チーム医療の一員として行動します

一. わたくしたちは, 専門分野の責任をまっとうします

一. わたくしたちは, 人びとの利益のために常に学習します

一. わたくしたちは, インフォームド・コンセントを尊重し実践します

(平成9年6月14日　第54回　日本放射線技師会総会で採択)

3

国際化時代のリーダーシップ

これからは他国、他民族の文化・宗教・民族性などを深く理解し、上手にリードできるリーダーが強く求められる。
ボーダーレス・エコノミーの時代、コンピュータとコミュニケーションの発達で世界が一つになった現代においては、このような国際性豊かな高次元のリーダーシップを学ぶことが極めて大切である。
リーダーの学習レベルの急速な高度化が急務である。

(津田 純著)

4

リーダーに求められる三つのスキル

- テクニカル・スキル(Technical Skill)
  その人の専門の技術
- ヒューマン・スキル(Human Skill)
  人間をリードする技術＝リーダーシップ
- コンセプチュアル・スキル(Conceptual Skill)
  コンセプト(概念・構想・着想・考案)に優れた技術

(樋田 勝著)

5

人材としてのリーダーの条件

人材は英語ではマンパワーあるいはハイタレントという。
人材の要件とは
・やる気(根性、闘志)
・リーダーシップ
・創造性　　(・政府の経済審議会人材開発部会論議)

*二つ以上の専門をもつこと
*幅の広い知識

(樋田 勝著)

6

がん対策基本法

- 基本的施策
  ・がん予防および早期発見の推進
  国と地方公共団体がん予防やがん検診を推進するとともにがん検診の質向上
  ・がん医療の均てん化の促進
  国と地方公共団体が外科手術・放射線療法・化学療法などに携わるがん専門医の育成、疼痛緩和目的とした医療の充実・在宅医療のための連携体制確保・医療従事者の研修の機会の確保などを図る。その他がんの罹患・転帰などを把握し分析するための取り組みを支援するなど、がん医療に関する情報の収集提供体制を整備し、がん患者や家族への相談支援を推進
  ・がん研究の推進

7

がん診療連携拠点病院

- 2006.4がん診療連携拠点病院の整備に関する指針が改定された。地域連携機能の強化を狙いとしたもので地域医療機関に対する支援機能となる相談支援センター設置の義務化、かかりつけ医を中心とする緩和医療体制病診連携の効率化を図るクリティカルパスの作成が新たに努力目標とした。拠点病院の質を管理するための更新制導入(4年ごとの更新)
  診療報酬改定で入院初日に入院基本料に200点加算、国と県との折半で年間700万円の補助金

8

胃がん検診の見直し

厚生労働省のがん検診に関する検討会は老人保健事業に基づく市町村が実施している胃がん検診の見直しに着手することで一致した。
課題となっている受診率の向上のほか、検査方法・検診に携わる医師の養成・事業管理などを検討し、専門家のヒアリングも行い報告書をまとめる。
2004年度　胃がん検診受診率　12.85%
1998年度　胃がん検診受診率　12.47%
都道府県別受診率　42.3%～5.3%
がん発見率　0.285%～0.017%
受診率の伸び悩みや都道府県での格差が課題に挙げられている。

9

04年度　国民医療費

厚生労働省の2004年度国民医療費の概況によると
32兆1111億円(1.8%増)
国民1人当たり医療費　25万1500円(1.8%増)

年齢別	65歳未満	15兆7014億円
	65歳以上	16兆4097億円(51.1%)
	70歳以上	13兆 414億円(40%超)
1人当たり	65歳未満	15万2700円
	65歳以上	65万9600円
	70歳以上	74万3800円
	75歳以上	81万5100円

10

DPCによる包括評価

要点　(三菱ウェルファーマ株　谷澤正明)

- 診断群分類(Diagnosis Procedure Combination)による疾患群評価(疾患群+手術等)
- 1日当たり定額(1入院定額でない　例;胃がん100万円ではなく胃がん1日10万円)
- 包括点数と出来高点数の混在
  何が包括され何が出来高で残るのかの知識は重要
- 病院ごとに診療報酬点数が異なる(医療機関別係数+調整係数による評価)
- 診療内容が比較・評価される(厚労省へ全ての診療データを電子媒体で提出)

11

包括評価の対象患者

- 一般病棟の入院患者(外来は出来高)
  感染症病棟・結核病棟・精神科病棟・歯科レセプトは出来高
  ER・ICU・HCU・NICU等の急性期系特定入院料はDPCにプラスして日割りの加算評価
- 包括評価の対象となった診断群分類に該当した患者
  ただし下記の物を除く
  ＊入院後24時間以内に死亡、生後7日以内の新生児の死亡
  ＊治験の対象患者
  ＊臓器移植患者の一部(皮膚移植・生体部分肝移植、腎移植等)
  ＊高度先進医療の対象患者
  ＊回復期リハビリテーション病棟入院料等の急性期以外の特定入院料の算　定対象患者

12

地域連携クリティカルパスによる医療機関の連携体制

- 紹介元医療機関が算定(地域連携診療計画管理料　入院時1500点)
- 紹介先医療機関が算定(地域連携診療計画退院時指導料　退院時1500点)

対象;大腿骨頸部骨折

13

放射線医が造影検査に携わっている割合

- 全国のCT装置13087台(2003)
  ・設置施設が公表されたヘリカルCT8804台について放射線医が常勤しているか否か調査
  ＊常勤している26.2%(台数でみて)
- シングルヘリカルCT(ヘリカルCTの85%)
  ＊常勤している22%
- 非ヘリカルCTが使われている中小病院・開業医では更に低い傾向がありそうである

(日本医放会誌65(2):142-147, 2005　中島ら)

14

造影剤の副作用(1)

- 重度副作用症例数(1986, 8～2002)
  2920例(0.004%)　死亡例185例(0.0003%)

  MR用造影剤の重度副作用症例数(88, 9～02, 12)
  480例(0.0065%)　死亡例11例(0.0001%)

中等～重度の副作用既往のある患者は重度副作用の発現が6倍高くなり　喘息やアレルギー症状がある場合もリスクが6～10倍上昇する。
そのため造影剤を投与する場合は副作用の可能性を説明し患者のICを取得した上で行うことが不可欠である。

(日医放　医療事故防止委員会試案)

15

造影剤の副作用(2)

ヨード系造影剤については重い副作用として呼吸困難・嗄声・意識障害・血圧低下・腎不全などが約2.5万に1人(0.004%)に発生し、場合によっては後遺症が残る可能性があることを説明する。
さらに病状、体質によっては約40万人に1人(0.00025%)の割合で死亡する場合もあることを説明しているか

(日放医 医療事故防止委員会試案)

16

看護師による造影剤静注(1)

(昭和大学病院例)

- 平成14年9月30日付けの厚生労働省の法解釈変更により看護師による造影剤静注の実施が可能
- 平成15年4月看護協会より静脈注射の実施に関する指針が提出された

1.造影剤の種類と投与方法が限られている
2.依頼伝票の指示が明確である
3.専属医師がCT・MRI室に1名常駐している
4.読影室が近い
5.緊急時の救命救急センターとの連携がとれている

静脈注射実施における業務内規定の提示
教育・指導が行われる安全な環境づくり

17

看護師による造影剤静注(2)

(昭和大学病院例)

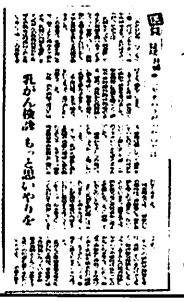
造影剤静脈注射業務実施基準

＊看護師が造影剤静注を行う場合
- 造影剤の禁忌・原則禁忌でない患者
- 一般状態が安定している患者
- CT・MRI検査で造影剤を使用する患者

＊看護師が静注を行わない場合
- 造影剤の禁忌・原則禁忌の患者
- 小児(0～15歳)　・三次救急患者
- 不信感が強い患者や血管穿刺困難な患者
- 同意書がない患者

18

放射線技師への苦情(読売新聞紙上)



あなたならどう対応しますか？

- 検査に対する説明不足
  (インフォームド・コンセント)
- コミュニケーション不足
  (検査中の声かけ)
- ポジションの不適
  (技師の立つ位置)

お疲れ様の一言が大切

19

新生涯学習システムの意義

システム構築の目的

⇩

国民のニーズに応えられる診療放射線技師の育成
- 国民は、安全かつ質の高い医療を求めている
- 診療放射線技師の養成教育課程において医療人として最低限習得すべき教育は軽視されてきた
- 国がやらないのであれば、民間でやればよい

真の医療人として最低限必要な知識・技術を身につけ国民がいつでも安心して検査を受けられる環境づくり

20

医療人として最低限必要な知識・技術とは

- 医療制度・医療問題
- 患者の心理・接遇・医療人としての倫理
- 看護の概念・看護技術
- 患者の容態変化への対応・救急蘇生
- 医療における安全技術・安全対策

医療学・看護学・救急医療学・医療安全学

⇩

アドバンスド放射線技師格

21

ADセミナー受講者数(累計)

技師会	会員数	法学安全学		救急医療学		医療学	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
石川	349	48	13.8	64	18.3	50	14.3
富山	422	94	22.3	116	27.5	118	28
福井	303	75	24.8	68	22.4	108	35.6
静岡	902	121	13.4	102	11.3	93	10.3
愛知	1606	150	9.3	100	6.2	156	9.7
三重	480	97	20.2	102	21.3	100	20.8
岐阜	662	178	26.9	110	16.6	175	26.4

22

各種認定者数

技師会	会員数	放射線管理士		臨床管理士		臨床実習指導者		医療薬事管理士	
		人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率	人数	取得率
石川	349	61	17.5	52	14.9	50	14.3	53	15.2
富山	422	79	18.5	75	17.8	63	14.9	54	12.8
福井	303	58	19.1	45	14.9	19	6.3	29	9.6
静岡	902	111	12.2	93	10.2	63	6.9	80	8.8
愛知	1606	86	4.8	90	5	78	4.3	96	5.3
三重	480	73	15.2	61	12.7	24	5	41	8.5
岐阜	662	98	14.8	95	14.4	86	13	19	2.9

23

生涯教育（認定・技師格）の必要性
（一部，日放技理事の考え）

- 診療放射線技師の免許更新制（5年後ぐらい？）
  - ・厚生労働省に早期導入の要望書を提出したい
  - ・看護協会はすでに提出済み
  - ・更新試験なし＝認定・技師格取得
  - ・更新試験あり＝未認定・未技師格、非会員
    （民間に講習会・試験を委託　P-METetc）

その結果　看護師のように准という名称もあり得る

＊場合によっては就業できなくなる事態も想定できる

是非　生涯教育のADセミナーを受講して下さい

24

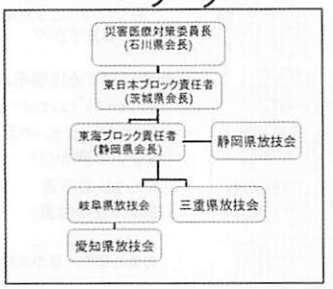
災害時緊急連絡網の構築

- 日放技の災害医療対策委員会立ち上げ
- 原子力・テロ等災害に対し都道府県技師会の緊急連絡網の構築
  - ・静放技として東・中・西の技師5名以上の医療機関に協力要請（施設長・放射線部門長に公文書）
- 定期的な情報伝達訓練の実施
  （日放技の全国的な情報伝達訓練に連動）

☆原安協の緊急被曝対策フォーラム等の研修会への参加要請（スクリーニング・除染・メンタルケア等）

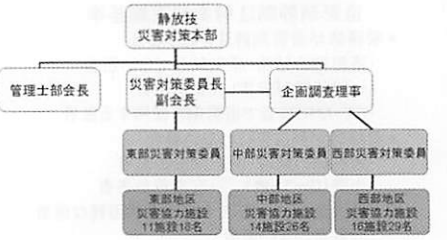
25

東海四県災害医療連携ネットワーク



26

（社）静岡県放射線技師会 災害緊急連絡網



27

公益法人新制度改革（1）

- 公益法人新制度改革（2006，5，26成立）
  公布　2006，6，2
  施行日　公布日から2年6ヶ月以内(2008，12，1)
  申請・認可　2008，12，2～5年間
  2008，12，2，から法律上　特例民法法人
  一般社団法人、一般財団法人
  公益社団法人、公益財団法人

28

公益法人新制度改革（2）

- 公益社団法人のメリット
  - ・従来のまま非課税性が享受できる
  - ・公益性のある法人として社会的信用が継続できる
- 一般社団法人のメリット
  - ・公益社団法人と比べ規制が少なく非営利法人として社会的信用がある
- 一般社団法人のデメリット
  - ・営利法人と同様の税率が課せられる
  - ・公益法人的支出計画により純財産の一部を公益目的に使用することが強制される

29

（社）日本放射線技師会 定款改正に対する書面表決

- 定款案
  - ・公益社団法人・一般社団法人への移行のための認定・認可等に共通して必要である。
  - ・定款改正には会員の3分の2以上の意思表示の確認（回収）がなければ定款に関する総会を開催することができない。

⇩

公益法人として公益認定基準の用件である事業運営に必要な経理的基準および技術的能力を有していない。

公益社団法人への道も閉ざされることになる

30

定款改正案の表決・委任状回収状況

中日本地域

	会員数	回収数	回収率
石川県	341	168	49.27
富山県	436	165	37.84
福井県	312	159	50.96
静岡県	**949**	**375**	**39.52**
愛知県	1807	691	38.24
岐阜県	670	173	25.82
三重県	482	203	42.12
全　国	31302	11105	35.48

（平成19年3月1日、会員数は平成18年11月6日現在）

31

(社)静岡県放射線技師会
平成19年度事業計画(1)

- 60周年記念式典 5月25日(金) 於 東京
- 日本放射線技師会総会 5月26日(土) 於 東京
- 県総会・学術大会 5月27日(日) 於 浜松ｱｸﾄ
  公開講演・一般演題数18題・委員会報告2題
- 第23回全国放射線技師総合学術大会
  6月7日～10日 於 金沢
- (社)日本放射線技術学会第42回中部部会
  学術大会 11月10日～11日 於 浜松ｱｸﾄ
- 中日本地域放射線技師学術大会
  11月17日～18日 於 愛知国際会議場

32

(社)静岡県放射線技師会
平成19年度事業計画(2)

- 新春公開講演会・第16回アール祭
  平成20年1月20日 於 ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ
- 東海四県放射線技師合同研究会
  平成20年2月11日 於 岐阜 長良川国際会議場
- 超音波部会・MRI部会・ANGIO部会・乳腺画像部会・管理士部会研修会
- ADセミナー
  東部 医療安全学・救急医療学
  西部 看護学・医療学

33

第23回放射線技師総合学術大会
第6回日韓台学術交流大会

- 平成19年6月7日～10日(石川県金沢市)
- 参加登録方法
  ＊1.日放技ホームページより
  ＊2.都道府県技師会へ
- 参加登録料
  ・5月20日までの登録 5000円
  ・5月21日以降の登録 10000円
- 会員懇親会 8000円
  10000円
  ＊Basic Cardを持参のこと

34

まとめ

- 最新医療情報の収集
- 医療人としてのモラル
  接遇・ｲﾝﾌｫｰﾑﾄﾞｺﾝｾﾝﾄ等
- 技術の研鑽と情報提供
- 安心・安全な医療の提供
- 災害緊急時の支援体制確立
- 医療経済学(効率的医療の推進)
  DPC, クリティカルパス導入
- チーム医療での役割
- 生涯教育・認定制度への参加

35

最後に

医療人として大切なことは
- ・常に患者の視点にたった気配り，目配り
- ・常に質の高い技術の提供
- ・常に学習することにより問題意識を持つ
- ・常に研究する意欲
- ・常に体力，気力の充実
- ・常に良好な人間関係
- ・メンタルヘルスコントロール

36

講演を終わるにあたって

我々はチーム医療の一員としてその役割を認識し，患者さんへのホスピタリティに務め，日々技術の研鑽に励み質の高い効率的な医療を提供しなければならない。

医療機器は常に良好な状態に保つため恒常的な保守点検を実施して患者さんが安心して検査して頂けるように務める。

医療安全の観点から種々の検査に対するインフォームド・コンセントの実践に務める。

ご清聴ありがとうございました

平成18年度 静岡県放射線技師研修会

『好感／安心感をもたれるマナーについて』

中北薬品株式会社
マナーインストラクター　北原　百合子

今回はじめて静岡県放射線技師研修会でのマナーセミナーを実施いたしました。

日曜日の午後2時40分から5時までの2時間20分という長いお時間にもかかわらず、皆さんたいへん熱心に受講くださりマナー意識の高さをあらためて感じました。

第一部は、「好感/安心感をもたれるマナーの基本について」。

第二部は、あらかじめ委員会様よりいただいた、よくある事例「①順序が前後した応対　②再撮影のお願い　③検査時間の延長」について、グループワークを行いました。

そのあと、グループ毎にロールプレイングを実施していただきました。患者さんやご家族を実際に演じることにより、患者さんの気持ちになって考え、相手の立場に立った応対を考えられたのではないかと思います。ロールプレイングをご覧になった他のグループの皆さんからも「良い点・こうしたらもっと良くなる点」等のご意見も頂戴し、情報も共有できました。

マナーセミナーの第一部「好感/安心感をもたれるマナーの基本について」の講演内容を簡単にまとめました。今後の患者さんとの接遇応対マナーの参考にしてくだされば幸いでございます。

◆選ばれる病院

社会が大きく変わる今日、医療を取り巻く環境も急速に変化し、医療機関もサービス業として捉えられ、病院が選ばれる時代になっています。

選ばれる要素は「質」「価格」「人・接遇」の3つに要約できます。最近の医療機関においては、患者満足度をアップさせる要素のひとつとして、患者さんとの接遇応対マナーの質の向上をはかっています。

◆マナーとは

辞書をひくと、方法・態度・礼儀・作法と書いてありますが、弊社では「相手に対する思いやりの気持ちが形になったもの」と定義しています。

患者さんへの気くばり、心くばり、目くばりのできた応対が患者さんへのマナーです。患者さんの他、ご家族の方、院内スタッフ同士でもマナーは必要です。皆さんの回りのすべての方にマナーを持って接すればより良い人間関係も築くことができます。

◆第一印象

人は初対面において、相手のことがわからない場合、第一印象で相手を判断します。

第一印象は、「6～7秒」で決まり、潜在意識の中に「約2年間」残るといわれています。皆さんもご経験があると思いますが、悪い印象ほど長い期間残っているのではないでしょうか。

患者さんにとっての病院の印象は、全体の雰囲気もありますが、一番の決め手は病院スタッフの印象です。患者さんにとって病院で出会うスタッフひとりひとりの印象が、病院全体の印象としてうえつけられるのです。病院にとって、スタッフ皆さんの第一印象はたいへん重要なのです。

◆マナーの5つの基本

相手に好印象(好感、安心感)をあたえるポイントが、イコール『マナーの基本』です。

マナーの基本は5つです。

1．あいさつ　2．表情　3．身だしなみ

4．言葉遣い　5．態度

皆さんご自分自身が、相手の第一印象を決めるポイントを思い出してみてください。5つのポイントいずれか含まれていませんか？

【あいさつ】

コミュニケーションの第一歩はあいさつからです。漢字「挨拶」の「挨」は近づく、「拶」は引き出すという意味があるそうです。自分から心を開いて相手に近づき、相手の気持ちを引き出す、つまり相手との心からのふれあいが「挨拶」なのです。

好感をもっていただく「あいさつ」のポイントをキャッチフレーズにしました。

(あ)明るく、アイコンタクトをして、愛(心・気持ち)をこめて

(い)いつでも

(さ)先に、さわやかに

(つ)つづけて、続けてプラス一言

一番手っ取り早いプラス一言は「お名前」です。「○○さん、おはようございます」挨拶に名前をプラスすることにより相手に安心感・信頼感を与えます。

また「どうぞお大事になさって下さい」「お気をつけてくださいませ」等といった「思いやりの一言」もプラスしましょう。

【表　情】

相手にやさしさ、あたたかさを届ける表情は笑顔です。

笑顔のポイントは3つです。

・目がやさしい

・口角があがっている

・心がこもっている

やさしい笑顔での接遇は、不安や緊張感いっぱいの患者さんの気持ちも癒され、患者さんとの信頼関係も築かれるのではないでしょうか。

このやさしい笑顔で発声される明るい声･･･あいさつやお呼び出しの声を弊社では「笑声(えごえ)」と名づけました。

しかし医療機関において、すべて笑顔での応対が良いとは限りません。患者さんのなかには「痛い」「苦しい」表情をなさっている方もいらっしゃいます。そんな時は気持ちを共感していることを表現する「相手に合わせた表情」で応対することも必要です。患者さんの状況に応じた豊かな表情で接しましょう。

【身だしなみ】

第一印象の80%は、身だしなみで決まるといわれています。病院スタッフのきちっとした身だしなみは好印象をあたえ、病院のイメージアップにもつながります。

身だしなみは、おしゃれではありません。年齢・性別問わず誰からも好感がもたれ、その場にふさわしいことが大事です。

身だしなみのポイントは3つです。

・清潔感あふれていること

・TPOに合ったもの

・控えめであること

医療機関においてご自分自身「清潔」な身だしなみに心がけることは必須ですが、「清潔感あふれた」身だしなみは、自分ではなく第三者が評価するものです。相手に「清潔感あふれている」と感じていただかなければいけません。身だしなみのどれか1つでもできていなければ相手は100点満点の身だしなみとは評価しません。身だしなみの評価は100点満点か0点のどちらかなのです。

常に、ご自分自身100点満点の身だしなみで患者さんの前に立ちましょう。

【言葉遣い】

使い･･･言葉を相手に伝える道具として使う

遣い･･･言葉を相手に対する心遣いとして遣う

ということで言葉遣いの「つかい」の漢字を「遣い」の字をあてはめています。

相手を敬い、尊重した言葉遣いは「敬語」です。患者さんとの会話は「敬語」が基本です。「敬語」をマスターするためにも就業中のスタッフ同士の会話は「敬語」を使いましょう。

また、一度発した言葉は取り消すことができません。たった一言で相手を傷つけ、「言刃」になってしまうこともあります。特に「はこぶ・あげる・さげる・おろす」といった患者さんを荷物扱いした言葉遣いや幼児扱いした言葉遣い等には気をつけましょう。常に相手を尊重し、相手の気持ちを配慮した「言葉遣い」が大事です。

言葉遣いのポイントは3つです。

・笑声（えごえ）･･･笑顔の明るい声

・プラス一言･･･お名前、思いやりの一言

・相手に合わせる

相手に合わせることのひとつに、患者さんとの会話においての「声の大きさ・速さ・トーン」等があります。特に耳の遠い高齢者の患者さんとのコミュニケーションは、プライバシーを考慮し行いましょう。

また、患者さんへの説明等は「専門用語を使わず、わかりやすい言葉に直すこと」も相手に合わせる言葉遣いです。アイコンタクトを行いながら相手の理解度を確認しましょう。

それから、座っている方、車椅子の方、ベッドで寝ている方等とコミュニケーションをする際は「相手との目線の高さ」を合わせ、相手に威圧感を感じさせない配慮も大切です。

言葉だけでなくやさしい気持ちをこめたコミュニケーションで、患者さんの不安や緊張をやわらげ、信頼関係を築きましょう。

【態　度】

腕組みをしているだけで、相手に威圧感を与えます。

態度は、無言ですが「相手の目に入る言葉」です。知らないうちに自分の気持ちが態度として表れます。

患者さんは常にスタッフの皆さんを見ています。患者さんの前でのスタッフ同士の無用なおしゃべり、笑い声、飲食はつつしみましょう。常に見られている意識を持って行動することが大事です。

また、忙しくなるとどうしても「ながら応対」になりがちです。相手の顔も見ず、自分の手元だけを見ながらの応対はやめましょう。動いている手は一旦止め、しっかり相手に向き合って応対しましょう。

相手にやさしさ、あたたかさを伝える動作のポイントは5つです。

・両手をそえる･･･物の受け渡し、お金の受け渡し

・言葉をそえる･･･無言で行わない「お願いします」「ありがとうございます」等

・笑顔をそえる･･･やさしさを届けます

・アイコンタクトしながら･･･相手の状況を確認します

・心をそえる

以上が、マナーの5つの基本「あいさつ・表情・身だしなみ・言葉遣い・態度」です。そう難しいことではありません。しかし、頭でわかっていても実際に行動が伴わなければ意味はありません。毎日繰り返し行うことにより、ぜひ身につけてください。

相手の立場に立ち、気くばり、心くばり、目くばりできての応対が患者さんとの信頼関係を築き、患者さん満足につながります。

◆まとめ

マナーとは・・・

マナーという言葉を辞書で引いてみました。

方法・態度・作法そして風習という意味があるそうです。

今度は、風習という意味を引いてみました。

しきたり・ならわし・習慣と書いてありました。

習慣とは、日頃、自然と身についているもののことをいいます。

そういえば、マナーのある人って、さりげなくとてもステキです。「そんな急に、自然に身につかないよ」って思っているあなた！マナーには、もうひとつの意味があるのです。

マナーとは、「相手に対する思いやりの気持ちが形になったもの」。患者さんの立場を考え、いつでも「明るさ」と「やさしさ」を忘れずに応対することを心がけください。

あなたのやさしい気持ちを形にして、まわりの人・患者さんに伝えてみてください。ほら！そう難しいことでも、かたくるしいことでもありません！

まず、あいさつから・・・！

明日の朝は、元気にさわやかに「おはよう！」からはじめましょう！

以上ありがとうございました。

生涯教育アンケート調査の結果報告

これまで、生涯教育委員会では診療放射線技師の資質向上のため、(社)日本放射線技師会生涯教育の一環である、アドバンスドセミナーの企画開催をしてまいりました。しかしながら、このアドバンスドセミナーへの参加者が大変少なくなっているのが現状です。そこで、今回アンケート調査を行いましたので、ここにその結果を報告させていただきます。

また、今回アンケート調査にかかる経費削減、回収率の向上を目的に総会議決ハガキに回答を記入していただくことと致しました。一部の会員の方よりアンケートの氏名が解り、個人情報が保護されないのではないかと指摘されましたが、生涯教育委員会としましては可能な限り個人情報が保護されるよう心がけたことをお約束いたします。

アンケート結果

集計アンケート総数　490

（各項目について合計が490になりませんが、複数又は無効回答があった結果です。）

Ⅰ．会員について

1．年齢

a．20代（97）　b．30代（167）　c．40代（133）
d．50代（80）　e．60代以上（13）

2．所属地区

a．東部（118）　b．中部（199）　c．西部（170）

3．家族背景

a．独身･一人住まい（67）　b．独身･家族と同居（70）
c．既婚･夫婦2人のみ（59）　d．既婚・夫婦以外の家族と同居〔子供含む〕（284）
e．その他（9）

4．勤務先

a．病院〔100床以上〕（377）　b．病院〔100床以下〕（23）
c．個人医院・診療所（33）　d．検診施設（40）
e．医療機器会社、研究施設（0）　f．自宅（6）
g．その他（3）

Ⅱ．生涯学習について

1．診療放射線技師の生涯教育は必要か?

a．必要（434）　b．不必要（42）

2．技師会が生涯教育を行うことについて

a．診療放射線技師唯一の職能団体の技師会が率先して生涯教育をしていくべきである（244）
b．施設、職場単位で行っていくべきである（35）
c．労働厚生省など行政が主導で行うべきである（115）
d．各個人が個人の責任で行えばよい（78）
e．その他（17）

3．(社)日本放射線技師会の生涯学習システムの理念について

a．賛同できる　(262)

b．賛同できない　(91)

c．理解できない　(111)

4．(社)日本放射線技師会の生涯学習システムについて

a．積極的に参加している　(45)

b．とりあえず参加している　(123)

c．参加しようと思うがまだ参加していない　(215)

d．参加していない。今後も参加しない。　(59)

e．この生涯学習事業に賛成できないので参加しない　(37)

5．技師格について

a．会員の努力目標になってよいシステムである　(70)

b．会員の努力目標としては良いかもしれないが、格付けはいきすぎである　(247)

c．同じ会費を払っている会員を差別化するのはおかしい　(73)

d．特に考えはない　(87)

Ⅲ．アドバンスドセミナーについて

1．貴方はアドバンスドセミナーに参加していますか

a．全て参加し終了している　(61)

b．まだ途中であるが、全て参加するつもりである　(50)

c．まだ参加していないが、何れは全てに参加するつもりである　(52)

d．興味のあるものだけ参加した。今後も興味のあるものには参加したい　(46)

e．まだ参加していないが、一部の興味のあるものだけ参加したい　(188)

f．参加しない。今後も参加するつもりはない　(81)

2．今後、行ってほしいアドバンスドセミナーの教科は〈複数選択可〉

a．医療安全学　(80)

b．看護学　(73)

c．救急医療学　(167)

d．医療学　(50)

e．なし　(150)

以下（Ⅲ－3．4）は先のⅢ－1でd．e．fを選んだ方

（参加するつもりのない方、　興味のあるものだけ参加する方）

3．参加しない理由〈複数選択可〉

a．教科に興味が持てない　(52)

b．生涯教育に賛同できない　(42)

c．参加する時間がない　(139)

d．研修会参加費用を払うのがもったいない　(22)

e．放射線技師として現役を引退している　(8)

f．周りの人が参加しないので参加しない　(31)

g．開催場所が離れている　(45)

h．その他　(29)

4．どのようにしたら参加しますか〈複数選択可〉

a．趣旨に賛同できないので絶対に参加しない　（ 15）
b．免許更新など、行政の指針で必要になれば参加する　（118）
c．研修会費用が安くなれば参加する　（ 64）
d．単位時間が短くなれば参加したい　（ 34）
e．近くで行っていただければ参加する　（ 44）
f．周りの人が参加すれば自分も参加する　（ 12）
g．施設、職場が研修したことを実績として評価していただければ参加する　（ 26）
h．試験、小論文をやめていただければ参加する　（ 32）
i．その他　（ 30）

Ⅳ．診療放射線技師に関する資格、認定などについて

＊貴方は下記のどのような資格、認定を持っていますか。持っているすべての番号を書いてください。

1．学位

a．学士（ 74）　b．修士（ 9）　c．博士（ 1）

2．放射線技師会認定資格

a．放射線管理士（ 73）　b．放射線機器管理士（ 63）
d．医用画像情報管理士（ 51）　e．臨床実習指導教員認定（ 30）

3．放射線取扱主任者

a．第1種（ 37）　b．第2種（ 23）　c．第3種（ 0）

4．危険物取扱者

a．甲種危険物取扱者（ 0）　b．乙種危険物取扱者（ 12）
c．丙種危険物取扱者（ 5）

5．作業環境測定士

a．第1種作業環境測定士（ 4）　b．第2種作業環境測定士（ 1）

6．学会認定

a．胃がん検診専門技師　（ 52）
b．検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師　（102）
c．放射線治療専門技師　（ 4）
d．医療情報技師　（ 6）
e．超音波検査士　（ 9）
f．磁気共鳴専門技術者　（ 0）
g．核医学専門技師　（ 5）

7．救急医療

a．上級救命講習会修了証　（ 66）
b．ハートセイバーAED　（ 8）
c．BLS for Healthcare Providers　（ 11）
d．BLS Instructor potential　以上　（ 0）
e．ACLS Provider　（ 0）
f．ACLS Instructor Potential　以上　（ 0）

8．(社)日本放射線技師会　臨床技術能力検定

a．放射線治療・照射技能検定　3級　2級　（　4）
b．放射線治療・計画技能検定　3級　2級　（　3）
c．放射線治療・線量測定技能　3級　2級　（　4）
d．核医学・放射線医薬品取扱い技能検定　3級　（　1）
e．核医学・一般核医学検査技能検定　3級　（　4）
f．核医学・特殊核医学検査技能検定　3級　（　1）
g．検査技能検定・X線CT検査技能検定　3級　（16）
h．検査技能検定・MRI検査技能検定　3級　（25）
i．検査技能検定・超音波検査技能検定　3級　（　4）

9．その他

a．看護師・准看護師　（　1）
b．臨床工学士　（　0）
c．作業療法士・理学療法士　（　0）
d．ホームヘルパー1級・ホームヘルパー2級　（　3）
e．介護福祉士　（　0）
f．その他　医療に関する資格［　　］　（　2）

V．貴方は下記のどのような資格、認定に興味がありますか？又は、取得したいと思いますか？
該当するものすべてを選んでください。

1．学位

a．学士（38）　b．修士（27）　c．博士（14）

2．放射線技師会認定資格

a．放射線管理士（29）　b．放射線機器管理士（22）
d．医用画像情報管理士（26）　e．臨床実習指導教員認定（11）

3．放射線取扱主任者

a．第1種（73）　b．第2種（　4）　c．第3種（　2）

4．危険物取扱者

a．甲種危険物取扱者（　7）　b．乙種危険物取扱者（　4）
c．丙種危険物取扱者（　6）

5．作業環境測定士

a．第1種作業環境測定士（26）　b．第2種作業環境測定士（　6）

6．学会認定

a．胃がん検診専門技師　（58）
b．検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師　（34）
c．放射線治療専門技師　（22）
d．医療情報技師　（26）
e．超音波検査士　（35）
f．磁気共鳴専門技術者　（42）
g．核医学専門技師　（12）

7．救急医療

a．上級救命講習会修了証　（ 28）
b．ハートセイバーAED　（ 20）
c．BLS for Healthcare Providers　（ 17）
d．BLS Instructor potential　以上　（ 13）
e．ACLS Provider　（ 23）
f．ACLS Instructor Potential　以上　（ 14）

8．(社)日本放射線技師会　臨床技術能力検定

a．放射線治療・照射技能検定　3級　2級　（ 3）
b．放射線治療・計画技能検定　3級　2級　（ 4）
c．放射線治療・線量測定技能　3級　2級　（ 3）
d．核医学・放射線医薬品取扱い技能検定　3級　（ 5）
e．核医学・一般核医学検査技能検定　3級　（ 7）
f．核医学・特殊核医学検査技能検定　3級　（ 5）
g．検査技能検定・X線CT検査技能検定　3級　（ 25）
h．検査技能検定・MRI検査技能検定　3級　（ 20）
i．検査技能検定・超音波検査技能検定　3級　（ 7）

9．その他

a．看護師・准看護師　（ 12）
b．臨床工学士　（ 6）
c．作業療法士・理学療法士　（ 0）
d．ホームヘルパー1級・ホームヘルパー2級　（ 8）
e．介護福祉士　（ 10）
f．その他　医療に関する資格［　　］　（ 16）
［医学物理士　（ 10）］

考　察

Ⅰ．会員についての項目は、このアンケート調査が会員の意見を本当に反映しているかどうかを見るうえで重要な項目です。年齢、地区など現状の会員の分布と比較して大きく違っていない裏づけとなった。勤務先を見ると圧倒的に大きな病院が多く、個人医院、診療所、検診施設の会員がもう少し今回のアンケートに参加して頂きたかったと思われる。

Ⅱ．放射線技師の生涯教育については、一部の方を除いては認識されている結果であった。また、技師会が生涯教育を行う事についても、半数の方が技師会が率先して行うべきという意見であった。行政が行うべきという意見も多かったが、今のご時世では困難なことだと思われる。日本放射線技師会の生涯学習システムの理念については、半数以上の方が賛同できるという結果であった。しかしながら、この学習システムに参加している方は、半数にも満たない現状であった事は大変残念な結果であった。また、技師格については半数以上の方が好意的に思われていない結果であった。

Ⅲ．アドバンスドセミナーについては、参加する意向はあるが参加していない方が多いようであった。また、興味のあるものだけに参加したいという意見が一番多く、今一度このセミナー（生涯教育）の意義について考えて頂きたい。今後行って頂きたいセミナーは「救急医療学」であった。

アドバンスドセミナーに参加しない理由として、参加する時間がないと言う回答が一番多かった。生涯教育委員会としては、アドバンスドセミナーは全て日曜日に開催して、勤務と重ならないよう配慮いたしております。また、地域差においても現在は、東、西部で開催をしており少しでも地域差をなくそうと努力をしている次第です。また、どのようにしたら参加しますかとの問いに対しては、行政の指針で必要となれば参加するという方が一番多い誠に残念な結果であった。

Ⅳ．Ⅴ．学会認定資格をはじめ、我々放射線技師に関する資格がたくさんあります。今回、生涯教育とは意味合いが違いますが、会員の方々がどのような資格を取得しているのか、また今後取得しようとしているのかアンケートをさせて頂きました。いろいろな資格に興味がある会員が多いことがわかりました。今後は、このような資格取得についても技師会として情報発信などの手助けができればと思います。

総　括

日本放射線技師会の生涯学習システムが始まって５年の月日が流れてきました。しかしながら、このシステムが会員に浸透してきている感覚は全く無く、アドバンスド技師格取得のセミナーへの出席者低迷は著しい限りです。現在、アドバンスド技師格以上の技師格取得者は全国的にも１～２割程度と言われますが、本県も１割程度で全く進んでいない現状です。今回のアンケート調査はその原因と今後の事業を進めるために行いました。

結果的には、会員の多くは放射線技師の生涯教育について必要なことの認識は高いものであった。アドバンスドセミナーについても、修了者は少ないが今後は受ける希望の方が200名を超え、セミナーへの出席者増大を期待させる結果であった。しかしながら、今年度前期アドバンスドセミナー受講の出席希望者は大変少ない現状です（５月30日現在。医療学14名、医療安全学17名）。技師会としましては、アドバンスドセミナーは全て日曜日開催、西部東部地区での開催と会員に少しでも参加しやすいよう企画しておりますが、結果としては寂しい限りです。今一度生涯教育の理念に立ち返り、一人でも多くの会員がアドバンスドセミナーに参加をして頂くことを願うばかりです。よろしくお願いいたします。

最後に、生涯教育委員会としましてはアドバンスドセミナーを第一の事業としてまいりました。しかし、今後は、アンケート調査のⅣ・Ⅴの項目にあるような資格取得のためにも、少しでも会員に協力していきたいと思います。

医療安全推進委員会だより②

皆さんはご存知でしょうか？昨年４月の診療報酬改定では「医療安全対策加算」が新設されました。「医療安全管理者」の設置がその要件の一つです。時期を同じくして、「医療の質・安全学会」（11月23～24日、第１回学術総会を開催）が立ち上げられ、厚労省の委託により日本内科学会を事務局とした「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」も始まりました。さらに、政府・自民党は現在、出産時の脳性マヒに対する「無過失補償制度」を検討しており、来年度から始める予定だそうです。また、裁判に至る前に紛争を解決するというADR（裁判外紛争処理）体制確立への機運も高まってきています。

このような中、皆さんにお伝えしたいのは医療安全対策加算についてです。その具体的内容は、「急性期入院医療において、医療機関内の医療安全管理委員会との連携により、より実効性のある医療安全対策を組織的に推進するため、医療安全に係る専門の教育を受けた医療安全管理者として専従で配置している場合について、入院基本料に対する加算を入院初日50点新設する」ものです。厚労省の医療安全管理の考え方は医療安全管理とリスクマネジメントを同義として、リスクマネジメントは医療に内在するリスクを管理し、患者の安全を確保するという意味を含んで用いられています。しかし、リスクマネジメントは組織防衛を目的に用いられることがあり、この場合患者の安全管理とは目的が異なります。したがって組織防衛ではないリスクマネジメントを含む医療の質の向上と安全の確保を目的とした医療安全管理者の業務指針とその業務内容に応じた医療安全管理者養成のための研修プログラム作成指針が作成されました。

医療安全管理者の業務指針では、医療安全管理者は管理者から必要な権限と人材や予算等の資源を与えられ管理者の指示により業務を行う。

業務内容は

1．院内の職種横断的な安全管理体制構築に参加し、各委員会の円滑な活動を支援する
2．医療安全に関する職員への教育・研修の実施（企画に関しては患者・家族、各分野の専門家等外部の講師選定）
3．医療事故防止のための情報収集、分析、対策立案、フィードバック、評価
4．医療事故への対応・再発防止
5．安全文化の醸成

の５項目が挙げられています。

医療安全管理者養成のための研修プログラムでは、医療安全管理者には実践能が特に求められ、研修方式は講義と演習が用意されています。そして研修実施後には、企画内容、実施状況等についての評価を行います。

研修で習得すべき基本事項は、

1．医療安全の基本的知識
2．安全管理体制の構築
3．職員に対する研修の企画・運営
4．医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価
5．事故発生時の対応
6．安全文化の醸成

といったように業務指針に沿っています。そして、最後は医療安全管理者の継続的学習は必須の要件であるとしています。

ここまできて思い浮かんだのはマンモグラフィ

講習会との共通性です。まずは医療安全管理者の業務内容の標準化、職種によらず、研修を受けた人がその任に就く、研修プログラムでは基礎的な講習に加え実習を重視する手法等、より実践に即したものになっていると思います。要件を満たし医療安全に注力すればお金を支払うという、厚労省のこれまでにない意気込みを感じます。国を挙げ、病院を挙げてさらに医療安全に取り組もうとする今、私たち放射線技師も、傍観者でいられません。医療安全に特化した人の存在、組織の構築など環境も大切ですが、普段の業務の中でヒヤリとしたことやハッとしたことを持ち寄り分析して解決策を見出し、それを実践していく。その中で修整を加え、より確実なものにしていくことが大切ではないかと考えます。厚生労働省では皆さんの報告を待っています。報告事項がある時はこの新しい業務も遂行してくださることを希望します。もちろん、静岡県放射線技師会医療安全推進委員会（053-437-3694　井美）でも、お待ちしています。守秘義務は遵守します。

（文責　井美恵美子）

ご質問・お問い合わせは・・・

厚生労働省医薬食品局安全対策課　TEL 03-3595-2435

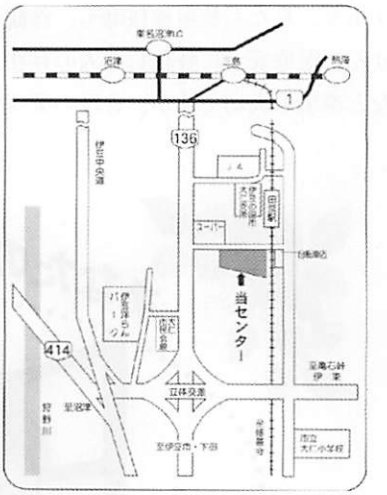
FAX 03-3508-4364

病院紹介

（財）田方保健対策協会

伊豆保健医療センター

（所 在 地）〒410-2315
伊豆の国市田京270-1
（ＴＥＬ）0558－76－0111
（ＦＡＸ）0558－76－1568
（ＵＲＬ）http://www2.ocn.ne.jp/tagatahp/
（診療科目）内科・外科・泌尿器科・整形外科
脳神経外科・呼吸器科・放射線科



≪はじめに≫

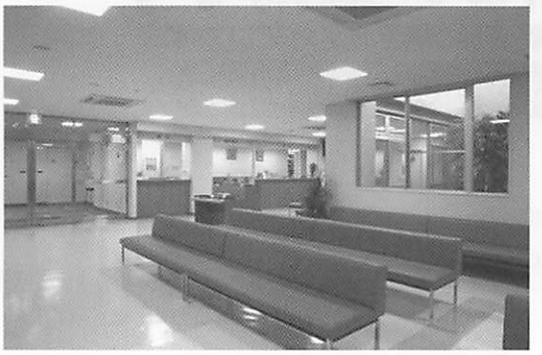
伊豆保健医療センターは昭和57年に旧田方郡下９か町村が財団法人田方保健対策協会を設け、調査研究部･検診部･診療部（病院）訪問看護ステーションを有する組織を設立しました。

【協会の理念】

１）個人の意思と人権の尊重
２）安全で満足できる良質な保健医療の提供
３）公共性と経済性を考慮した地域における保健医療連携を推進

を基本理念に掲げ、地域の保健医療の担い手となるべく生活習慣病や一次･二次救急疾患に対応する事を使命としています。

≪病院棟の改築について≫



昭和57年より22年間使用していた病院棟の改築と健診棟の建設を平成15年に行いました。診察室、救急処置室、待合室、受付、会計などアメニティーの充実と整備を行い外来受診患者さまへの対応に努めています。また同時に待ち時間対策として『診察時間枠予約システム』を取入れ再来患者さまの院内滞在時間の短縮など工夫しています。

≪健診棟について≫

健診センターから望む富士山

4階にCR・TV装置（DR）・エコー装置・検診機器と3階に画像処理システム・自動現像機などを集約した健診センターを設置し、地域検診や職域検診・人間ドックなどを行っています。

地域検診

◇ がん検診　（肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん）

◇ 基本健康診査、個別健康教育

◇ 骨密度検診（骨粗しょう症）

職域検診

◇ 政府管掌健康診断　　◇ 労働安全衛生法健康診断

◇ 各種健康保険組合健康診断　　◇ 各種共済組合健康診断

◇ 教職員健康診断

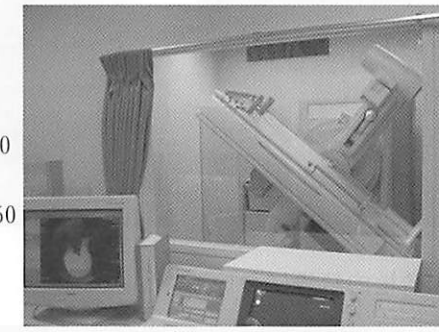
人間ドック

◇ 腹部超音波検査　◇ 各種CT検査　◇ 内視鏡検査

◇ MMG装置
東芝製　MGS－100B

◇ 骨密度測定装置
東洋メディック製DTX-200

◇ CR装置（健診用）
コニカミノル製REGIUS150



◇ XTV装置（DR）　東芝製　DBX－5000A

◇ 画像処理装置　東芝製　ADR－1000

画像処理室

・ワークステーション

・高解像度ビューワー

・画像サーバー　（ITネット　SN　STBGY51S）

デジタル化でネットワークとフィルムレスを実現しています。

≪検診車について≫

検診車は胸部専用車が２台・胸部胃部兼用車が２台・胃部専用車が１台の計５台で出張検診を行っています。検査項目や出張場所・スタッフ人数によっては放射線技師が大型検診車を運転し検査を実施してきます。

〔６号車〕はトラック車両ベースを採用し狭い道でも小回りができる運動性と幅広く段差のない車両フロアーで心電図・超音波・眼底検査・胸部胃部検査など多種多様の検査を行うことを目的として設計しました。

≪CRとオーダリングについて≫

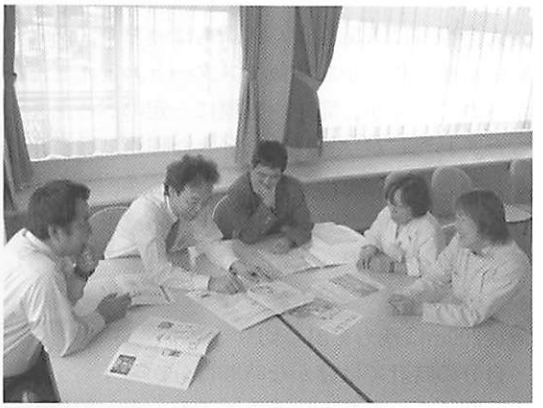
病院棟放射線室のCRはFUJIFILM FCR GX-１を２台並列に配置しどちらの装置でもIP読取が出来るように設定しています。また、故障時は各装置が単独で稼動するようにもなっています。
オーダリング装置は富士通EGMAIN-NXを平成18年に導入し運用しています。各検査終了後、フィルム枚数使用材料等オーダ実施入力し医事会計システムに反映するように構築しています。

≪敷地内禁煙について≫

受診審査１年半前よりマニュアルや各検査室の整備・スタッフの意識改革を行い、平成18年３月に日本医療機能評価機構の認定を取得しました。
そのとき院内の敷地内禁煙を実施し、より強く印象付けるため中国語で表した看板も付けました。

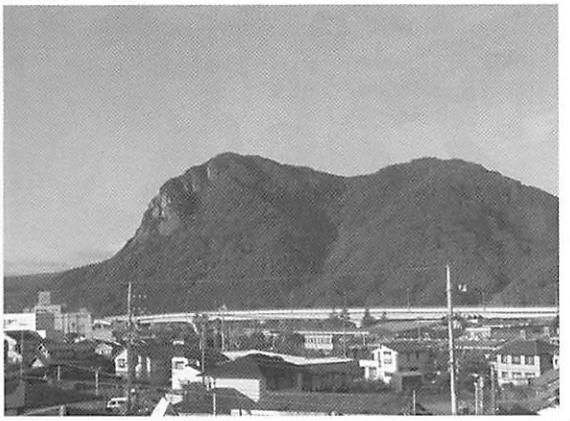
≪けんこう田方について≫

健康情報の提供と知識の普及を目的に、地域に根ざした広報誌「けんこう田方」を発行しています。編集委員は各部署より選任され年に4回ほど発行に携わっています。前回委員として当科員も参加していました。発行部数：毎号4万部・配布方法：各戸配布（伊豆市、伊豆の国市、函南町）



≪おわりに≫

現在、放射線技師は7名、事務役職兼務1名、事務員1名の計9名で検診車5台・健診センター・CT室・超音波・一般撮影室などモダリティー計13台を日常業務として遂行しています。また一次・二次救急の対応もしており夜間・休日はオンコール体制を行っています。場合によっては深夜に急患対応をし、翌朝検診業務に付く場合も有ります。常に、患者さま・受診者さまに信頼される対応を心がけ、安全で安心できる検査と的確な医療画像情報を迅速かつ正確に提供する事に努めています。また他の医療機関と連携を密にして地域住民の皆さんが、よりよい医療を受けられるよう業務時間以外でも予約検査依頼が出来るよう事務当直者に協力を得て検査予約（CT・エコー・胃大腸内視鏡）の受付を行っています。



これからも地域技師会の勉強や研修会などに積極的に参加し技術の研鑽に努め、地域密着型の病院を目指していきたいと思います。

（研修の受入れも行っており当施設でお役に立てる事があればお声をお掛け下さい。）

フリートーク

浜松シティマラソン

みんなでマラソンしない？

県西部浜松医療センター　追平　智子

「みんなでマラソンしない？」の誘いに軽い気持ちで「走りまーす！」と答えてしまったのが始まり。ノリが大切だと思ったこととダイエットも兼ねていい運動になると思ったことが理由だった。しかし、よく考えたら人生で10kmなんて走ったことはない。想像はつかないけれど、マラソンは嫌いじゃないしどうにかなるだろうと甘く見ていた。

そして、本番の１ヶ月半ほど前、参加する技師、看護師全員で練習することになり佐鳴湖に集合した。一周で約６km。みんなで軽く走るものだとばかり思っていたら、気付けば前の人が見えない状況だった。みんな予想以上に早い。もう呼吸が続かず、歩きながらこのままではどうにもならないことに気付き、若干の後悔と共に軽い絶望感を感じた。

そこからわたしの練習の日々が始まった。まずは見た目からということで、ウインドブレーカー、マラソンシューズ、iPOD用のイヤホンを買い揃え、とりあえず４～５kmを週２，３回のペースで走った。やっと4.5kmを30分ほどで走れるようになったが、10kmを１時間という制限時間を切るのは難しいかなというところだった。それから２、３回ほど全員での練習を行い本番に備えた。

大会当日は天気もよく体調もばっちり。あまり緊張もせず和やかな空気でスタート。どんどん抜かされていくが、完走を目標に一定のペースで走った。わたしがマラソンを好きな理由は競技時間が長いところ。その分苦しさもあるが、今までの練習を思い出したりコースの周りの風景を楽しんだりできるからだ。大勢の人の声援もとても嬉しく、後半はだいぶ足も軽くなりペースをあげた。最後200mは残力を出し切りラストスパート！

自分の時計では確かな時間は分からずちょうど１時間くらいかなというところだった。記録の記してある完走証をもらうため列に並んだ。

記録・・・・・59分58秒！！！

奇跡！すごい！本気で自分で自分を褒めたい気分でした。残り２秒。あのとき給水しなくてよかった・・・。最後に猛ダッシュしてよかった・・・。病院の参加者の中ではわたしがビリだったので全員完走だった。思っていた以上の達成感と、個人競技ではあるものの仲間との連帯感があり、心の底から参加したことへの喜びが込み上げてきた。体を動かすこと、みんなで努力することの良さをつくづく感じた一日だった。

しかし、ただ一つ残念なことが。マラソンの練習を始める前と大会後で体重が２kg増。納得いかない。

寄せ書きコーナー

わが家のシンちゃん紹介

今回は焼津市立総合病院の西谷収利さんのお子さんを紹介します。

わが家の長女の香音（カノン：小学１年生）と次女の紫音（シオン：年中）を紹介します。音楽が好きで、何か楽器が出来たらと思い２人の名前に音という字をつけました。その親の思いを知ってか「ピアノがやりたい！」と２人とも言い出したので長女は年中、次女は年少から週一回幼稚園でカワイ音楽教室のピアノを習わせています。

２月頃にグランシップの中ホールで音楽発表会がありました。（お子さんをカワイ音楽教室に習わしている方は、お会いしていたかも知れませんね。）どこの家庭も同じかも知れませんが、カメラやビデオを持って少しでも良い席を確保して、わが子の晴れ舞台を撮影しようと必死になりますが、我が家は少し違います。長女は私に似たのか？極度のあがり症で知らない大人が大勢いると固まってしまいます。去年は親の顔を見つけると不安そうな顔になり、今にも泣き出しそうになりました。

そのため、今年は２階席から見守る事にしましたが、肉眼ではハッキリ見えない位置での見学で少し残念でした・・・。

今年の発表会の結果は、次女は初めての発表会のため緊張気味でしたが、写真の通り、無事に終了しました。（子供以上に親はドキドキでした）

発表会の途中に小学校３，４年生ぐらいの子が１人で二段のエレクトーンの演奏をしましたが、『うちの子もあのぐらい演奏できたら、お金を惜しまず子供に投資するだろうな』と思うぐらい上手に演奏をしていました。

いま、長女は小学生になりピアノを続けてくれると思ったが、「またピアノやるけど、今はちょっと休憩！」と言い出して、長女は只今充電中・・・？２人が私のためにピアノを弾き、休日をのんびり過ごす日を夢見てきたが、どんどん遠のく気がしてきた今日この頃です・・・

新入会員・転入会員紹介

土屋甲司（ツチヤコウジ）

【生年月日】 昭和40年９月７日
【出 身 地】 岐阜県関市
【出 身 校】 新潟大学医療技術短期大学部
【勤務施設】 聖隷浜松病院
【趣　　味】 家事手伝い
【抱　　負】 ４年間他県で勉強して戻ってまいりました。またお世話になります。よろしくお願いします。

佐野文香（サノアヤカ）

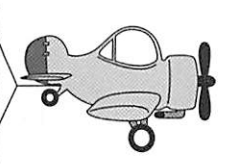
【生年月日】 昭和58年８月29日
【出 身 地】 静岡県静岡市
【出 身 校】 名古屋大学
【勤務施設】 静岡市立清水病院　放射線技術科
【趣　　味】 読書・映画鑑賞
【抱　　負】 たくさん勉強して頑張りたいと思います。

大糀康裕（オオコウジヤスヒロ）

【生年月日】 昭和35年１月16日
【出 身 地】 北海道札幌市
【出 身 校】 北海道大学医学部附属診療放射線技師学校
【勤務施設】 社団法人静和会　静和病院

メッセージボード

平成１９年５月現在



東部地区

◎経過報告

３月24日　特別講演会「最新X線CTの実践」

［富士市立中央病院　大会義室］

・オムニパークシリンジのICタグについて

第一製薬株式会社

竹中　康悟 先生

座長　富士市立中央病院

菅原　和仁 会員

・CTの基礎から臨床

鈴鹿医療科学大学教授

金森　勇雄 先生

・CTの機械原理

岐阜医療科学大学講師

小野木満照 先生

・胸部疾患について

厚生連中濃厚生病院技師長

藤野　明俊 先生

参加会員53名

第45回東部地区会通常総会

［富士市立中央病院　大会議室］

参加会員50名

◎行事予定

５月17日　第１回東部地区幹事会

［富士市立中央病院　講義室］

・年間行事予定について

・幹事役割分担について

・第１回放射線セミナー及び

胃がん検診従事者講習会について

・親睦会（暑気払い）について

８月４日　第１回放射線セミナー及び

胃がん検診従事者講習会

［沼津医師会館（予定）］

中部地区

◎経過報告

３月３日　第２回放射線セミナー及び

第２回胃がん検診従事者講習会

［グランシップ］

参加74名

・オムニパークシリンジICタグ製剤の

概略と機能

第一製薬株式会社

静岡工場固形剤技術センター

永田　　亮 先生

・マンモグラフィーの精度管理の必要性と現状
国立病院機構名古屋医療センター
放射線科　遠藤登喜子 先生
・胃がん検診ステップアップポイント
静岡市立静岡病院
消化器科・内視鏡科部長
田中　俊夫 先生

3月3日　平成18年度中部地区会通常総会開催
［グランシップ］
出席25名

4月11日　総務会議　［藤枝市立総合病院］
参加4名

4月11日　中部地区会幹事会
［藤枝市立総合病院］
参加11名
・4役からの報告
・静岡県技師会からの報告
・第2回放射線セミナーと胃がん従事者講習会の反省
・H18年度通常総会の反省
・バーベキュー大会について
・平成19年度第1回放射線セミナー及び胃がん検診従事者講会内容検討
・入退会承認

4月16日　地区会ニュース春夏号編集

4月18日　地区会ニュース春夏号発送

◎行事予定

5月20日　バーベキュー大会
［梅ヶ島　魚魚の里］

西部地区

◎経過報告

4月9日　第1回幹事会　［聖隷三方原病院］
参加者11名
・静岡県放射線技師会（第1回理事会）からの報告
・第32回通常総会および第12回学術大会の役割分担を決める
・各委員会からの報告
＊勉強会
3月3日の第3回勉強会は盛大で102名の出席
平成19年度のテーマはメール投票で決める
第1回勉強会は7月14日遠州病院の講堂で開催
＊編　集
平成19年3月 SEIBU TIPS48号発行
4月4日委員会
［聖隷予検センター］
参加者4名
SEIBU TIPS48号発行についての反省点
原稿、校正等の締め切りは守るようにお願いします
平成19年6月
SEIBU TIPS49号発行予定
施設紹介　遠州病院
＊レクレーション
平成19年4月6日打ち合わせ
平成19年5月13日
春のレクレーションそば打ち体験
［そば処　ほっとり（森町間詰）］

4月20日　第32回通常総会及び第12回学術大会の会場視察・会場設備の動作確認
［浜松市地域情報センター］
参加者8名（本部3名・地区5名）

◎行事予定

5月13日　春のレクレーション
「そば打ち体験」

5月27日　第32回通常総会及び第12回学術大会

6月19日　第2回幹事会

7月14日　第1回放射線セミナー及び
第1回胃がん検診従事者講習会

本　会　の　歩　み

(平成19年2月1日～平成19年3月31日)

2 / 1　第31回(社)静岡県放射線技師会通常総会
議案集作成及び理事会資料作成
神山・藤原・野末・加藤(久)

2 / 2　第3回生涯教育委員会
奥川・中瀬・篠田・大須賀・秋山・藤原・天野(守)・西尾

2 / 3　東部地区会
第2回放射線セミナー・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会　参加 59名

2 / 3　第4回　理事会(静岡県もくせい会館)
和田(健)・古郡・村田・伊藤・金刺・神山・藤原・庄・野末・山本(英)・大川・井出(宜)・市川・原田・宿島・前田・奥川・井美・秋山・畑・天野(宜)・牛場・山本(満)・和田(幸)・石川

2 / 6　第31回(社)静岡県放射線技師会通常総会
議案集発送作業
村田・金刺・神山

2 / 8　第19回　常任理事会
和田・村田・伊藤・金刺・神山・藤原・野末・加藤(久)

2 /10　第24回アンギオ部会研修会
沼津市立病院　参加 48名

2 /10　第4回企画調査委員会
大川・笠原・市川・岡田・水野・瀧澤・古郡

2 /17　第25回MRI部会研修会
静岡赤十字病院　参加 55名

2 /18　第48回東海四県放射線技師合同研究会
名古屋国際会議場　参加 54名

2 /22　第3回学術委員会
山本(英)・石塚・後藤・田邊・北川・中山(親)・中山(修)・天野(宜)

2 /22　第20回　常任理事会
和田・古郡・村田・伊藤・金刺・神山・藤原・庄・野末・加藤(久)

2 /24　第39回超音波部会・第8回乳腺画像部会
合同研修会　静岡県教育会館　参加 77名

2 /27　第17回　編集委員会
野末・加藤(久)・井上・橋本・溝口・加藤(和)

3 / 3　中部地区会
第2回放射線セミナー・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会　参加 74名
地区会総会　参加 24名

3 / 3　西部地区会
第3回放射線セミナー・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会　参加100名
地区会総会　参加 68名

3 / 4　第31回(社)静岡県放射線技師会通常総会
静岡県放射線技師会事務所
資格審査　会員数944名/有効表決数496名
第1号議案　否決9　賛成481　無効6
第2号議案　否決10　賛成479　無効7

3 / 4　AD認定試験
富士市立中央病院（東部）
医療安全学　13名　看護学　13名
救急医療学　8名　医療学　7名
掛川市立総合病院（西部）
医療安全学　21名　看護学　2名
救急医療学　6名　医療学　5名

3 / 6　第18回　編集委員会
野末・神山・加藤(久)・井上・橋本・三輪・溝口・加藤(和)

3 / 8　第21回　常任理事会
和田・古郡・村田・伊藤・金刺・神山・藤原・庄・野末・加藤(久)

3 /11　第5回企画調査委員会
大川・井出・笠原・市川・岡田・水野・瀧澤・古郡

3 /11　平成18年度静岡県放射線技師研修会
もくせい会館　参加 25名

3 /13　第19回　編集委員会
野末・井上・橋本・三輪・溝口・加藤(和)

3 /17　肺がん検診従事者講習会
静岡県医師会館　参加 27名

3 /22　第22回　常任理事会
和田・古郡・村田・伊藤・金刺・神山・藤原・野末・加藤(久)

3/24　東部地区会
　　特別講演　　参加 53名
　　地区会総会　　参加 50名
4/3　しずおかジャーナル　No. 4 発送
　　第20回　編集委員会
　　村田・神山・藤原・庄・野末・加藤(久)・井上・三輪・溝口・加藤(和)

会員の声

【第31回通常総会御意見・御要望まとめ】

事業に関して

・研修会開催をなるべくまとめてほしい。
・基本的なMRIの勉強会を開催してほしい。
・勉強会等は，是非駐車場が無料の施設をお願いします。
・研修会等を日曜開催にしてほしい。
・研修会の演者等の交通費の統一性がないのはおかしい。
・会議等必要最低限としてスマートな事業体裁とするようにしていただきたい。
・総会の日付がないのは，どういうことでしょう？場所も不明。
・大きさの違う事業計画案が2枚ありました，この意味は何ですか?。
・全国野球大会選手ってなんですか。
・新規事業に対し反対。
・海外研修に対する助成金の新設とは，何ですか？具体的にお願いいたします。
・年間事業のテニス・サッカー大会は，共にいらないと思います。(会員親睦にはなっていないと思う)

生涯教育に関して

・生涯教育のアンケートは，名前がわかるので答えたくないです。無記名の方法に変えるべきです。他6件
・技師格付は，良くないと思います。
・ADセミナー講習を受講しましたが，講習時にAD試験の手続の案内をして欲しかった。
日ごろの業務が，忙しく書類に目が行き届かないです。

その他

・技師会費を値下げしてほしい，無料にしてほしい等4件。
・会費収入の予測が甘いと思います。今年度は，退会者が，多いと思います。
・技師会認定資格で取得したあとの有用性が全くなく取得にかかったお金がかなり大きいのに必要性が全く感じることができない。さらに更新だけは，させられてもう少し魅力のあるものにしてください。
・日本放射線技師会の会長選挙等は，会員全員の投票にしてほしい（いつも会員の知らない所で決定してしまう）
・日本放射線技師会は，県技師会を見下しておりますが，これは誤りであることを抗議して下さい。
・現日本放射線技師会執行部に対し不信感を抱いており退会も考えておりますが，静岡県放射線技師会として会員の意志確認を考えてほしい。
・日本放射線技師会の是正を止めてほしい。
・日本放射線技師会委任状3割，静岡県放射線技師会も3割ですか？真面目に出している意味がありますでしょうか？考えさせられます。
・静岡県放射線技師会PRの為、全県的に無料検診の実施を行ってはどうでしょう？
・生涯教育より新卒就職難で就職浪人の出ることが取りざたされています。
病院も生き残りが大変で人件費の削減が必然的になり介護に関する方向に向かっていて放射線技師が取り残されています。早く技師の定員数を決定する行政の指示が欲しいのではないでしょうか？例えば機器の数や照射録の数等
・静岡県放射線技師会長も有給にしませんか？

会員動静

(平成19年2月1日～平成19年3月31日)

【入　会】

西部　髙橋こず枝　聖隷三方原病院

【再入会】

なし

【転入会】

東部　大糀　康裕　静和病院 ← 北海道

西部　土屋　甲司　総合病院聖隷浜松病院 ← 神奈川県

西部　松谷　秀能　聖隷予防検診センター ← 神奈川県

【勤務移動】

東部　山田　豊　自宅 ← おおしろ整形外科クリニック

中部　池田　真輔　藤枝市立総合病院 ← 引佐赤十字病院

西部　中山　勝義　自宅 ← 磐田市立総合病院

西部　濱渕　康司　天竜吉田医院 ← 天竜すずかけ病院

西部　大石　秀明　自宅 ← 中西病院

西部　谷澤　美穂　小笠医師会立掛川医療センター ← 中伊豆温泉病院

西部　松下　収　かなめ整形外科 ← 中西整形外科

【転　出】

東部　小菅　哲夫　自宅 → 神奈川県

東部　手塚　由紀　国際医療福祉大学熱海病院 → 神奈川県

東部　濱口　浩規　西島病院 → 岡山県

東部　金原　聡子　順天堂静岡病院 → 群馬県

西部　大桑　有未　聖隷健康診断センター → 千葉県

西部　吉村亜希子　浜松北病院 → 岐阜県

【退　会】

東部　髙田しのぶ　池田病院

東部　浅田　義弘　静岡県立静岡がんセンター

東部　桑沢　啓治　伊豆保険医療センター

東部　郷　昌明　静岡県立静岡がんセンター

東部　山屋　利晴　中伊豆温泉病院

東部　近藤　達雄　芹沢病院

東部　清正　将州　芹沢病院

東部　向井雄一郎　芹沢病院

東部　石榑　隆澄　自宅

東部　長島　眞　石田病院

中部　土屋　隆司　静岡郵政健康管理センター

中部　澤本　光正　自宅

中部　陶山　誠　静岡市立清水病院

中部　石井清二郎　清水厚生病院

中部　酒井　美香　自宅

中部　河野　千恵　藤枝市立総合病院

中部　濱口　佳史　藤枝市立総合病院

中部　柳原　俊三　清水厚生病院

中部　甲田ゆき乃　静岡県立総合病院

西部　土屋　文香　聖隷健康診断センター

西部　谷崎　雪絵　聖隷健康診断センター

西部　島　香瑞　聖隷健康診断センター

西部　佐々木哲也　自宅

西部　服部　義男　小笠医師会立掛川医療センター

西部　赤堀　敏弘　掛川市立総合病院

西部　西尾　重成　共立湖西総合病院

【結　婚】

西部　武田　真典　総合病院聖隷三方原病院

【電　報】

東部　山村　信彰　御尊父様弔電

中部　望月悌司郎　御尊父様弔電

中部　鈴木　武成　御尊父様弔電

西部　武田　真典　結婚祝電

【施設名変更】

東部　国際医療福祉大学熱海病院 ← 国際医療福祉大学附属熱海病院

西部　JA静岡厚生連遠州病院 ← 遠州総合病院

コニカミノルタヘルスケアー(株) ← コニカミノルタメディカル(株)・コニカミノルタエムジーテクノサポート(株)

会員総数　941名
　東部　289名
　中部　330名
　西部　322名
（平成19年３月20日現在）

本会への寄贈図書
（平成１９年2月１日～平成１９年3月３１日）

2 / 1　会報　平成19年１月　第105号
　鹿児島県放射線技師会
2 / 1　神奈川放射線 206 Vol.59 No.5 Jan.2007
2 / 1　福岡県放射線技師会誌　第284号
2 / 1　東京放射線　Vol.54 No.633
2 / 3　大分放射線　第66号 January 2007
2 /13　三重県放射線技師会誌
　248号 2007.2 Vol.57 No.3
2 /15　放射線やまぐち　2007 Vol.213
3 / 1　埼玉放射線　Vol.55 No.1
3 / 5　岐阜県放射線技師会雑誌
　第67巻（通巻103号）
3 / 5　栃木県放射線技師会会誌　No.96 2007.3
3 / 5　東京放射線　Vol.54 No.634
3 / 5　兵庫県放射線技師会雑誌
　Vol.66-③ 2007.3.1
3 /19　岩手放射線　2007 No.33
3 /17　神奈川放射線　207 Vol.59 No 6 Mar.2007

平成19年度
第1回理事会 議事録

平成19年度第1回理事会が25名の理事の出席を得て，平成19年4月7日(土)静岡県もくせい会館において開催され古郡副会長司会のもと議事が進行された。なお議事録署名人として，金刺理事，藤原理事が指名された。

1．会長挨拶

(代)伊藤副会長挨拶で

和田会長の御尊母様に突然の不幸がございまして和田会長は本日欠席いたしますが，皆様，本日は宜しくお願いいたしますと挨拶があった。

2．報告事項

① 会長報告(抜粋)

(代)伊藤副会長

中日本会長会議に関して

・日本放射線技師会の定款改正案はがき採決の促進について再度お願い

・創立60周年記念行事，5/25に厚生労働大臣表彰として静岡県は和田会長が推薦されました

・放射線技師免許に関して更新手続願いを厚生労働大臣に要望書として提出

・全国学術大会H20年札幌H21年鹿児島で開催予定

・中日本放射線技師会と放射線技術学会中部部会との学術大会合同開催についてH20年以降の話し合いは，中日本放射線技師会代表として石川県村田会長と愛知県河合会長に決定

東海四県放射線技師会会長会議に関して

・第49回合同研究会は，H20/2/11(月)長良川国際会議場にて開催

・次期参議院選出馬は，石川県村田会長に決定

全国放射線技師会会長会議に関して

・日本放射線技師会の定款改正案はがき採決のお願いを和田会長が，自ら各病院技師長に電話でお願いしました

② 副会長報告

東　部：古郡副会長

・緊急被曝医療マニュアルを災害緊急時対策委員会と管理士部会の協力のもと作成いたしました

中　部：村田副会長

・なし

西　部：伊藤副会長

・西部地区会総会で静放技の報告をいたしました

③ 常任理事報告

総　務：金刺理事

・3/17 肺がん従事者講習会 27名参加(総数92名)

・3/4 第31回通常総会報告

第1号議案　賛成 481否決 9無効 6

第2号議案　賛成 479否決 10無効 7

以上より可決承認されました。

庶　務：藤原理事

・事業報告・会員動静について(2/1～3/31)

＊議長は，新入会1名，再入会0名，転入会3名に対して定款第2章第6条に基づき採決を諮り、結果全会一致で入会が承認された。

なお，転出者6名･勤務移動9名･退会者26名･祝電1名･弔電2名である。

会　計：庄理事

サーバーの未払の件ですが支払を済ませました

会計報告を各部会・委員会お願いいたします

編　集：野末理事

・2/27，3/6，3/13 編集委員会開催

・4/3　ジャーナルVol.16 No.4 発送

・ジャーナル製本費について

Vol.16	No.1	441,000円
	No.2	451,500円
	No.3	466,560円
	No.4	375,200円

・19年度賛助会員及び広告会員一覧確認ください

・議案集・予稿集を理事会で確認後16日までに修正点等報告下さい

＊以上報告について，意見･質問無いか伺ったところ

伊藤副会長：ジャーナルNo.4に掛かった金額は18年度に繰り入れましたか，それとも19年度に繰り入れましたか教えて下さい

庄会計理事：今年度分の支払でお願いしました

広報・福利厚生：加藤(久)理事

・なし

学　術：山本(英)理事

・2/22 学術委員会開催

企画調査：大川理事

・3/11 平成18年度放射線技師研修会開催

参加 25名

・2/10，3/11 企画調査委員会開催

大地震アンケートの記入漏れが，ございましたので再度アンケートを送り直しました

④ 組織理事報告

東　部：井出理事

・2/1 第5回幹事会開催

・2/3 第2回放射線セミナー及び胃がん従事者

講習会開催　参加 59名
・3/2 第4回地区だより発送
・3/24 特別講演最新X線CT検査の実践
参加 53名
第45回東部地区通常総会開催
中　部：市川理事
・2/7　地区会幹事会，地区会ニュース発送
・3/3 第2回放射線セミナー・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会開催　参加 74名
平成18年度中部地区総会開催　参加 24名
・4/11 地区会幹事会予定
・5/11 バーベキュー大会開催予定
西　部：原田理事
・3/3 第3回放射線セミナー・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会開催　参加102名
平成18年度西部地区総会開催　参加 68名
⑤ 委員会報告(抜粋)
表彰委員会：小池委員長
・3/22 厚生労働大臣表彰を静岡県は，和田会長に内示決定
・5/27第32回静岡県放射線技師通常総会において35年勤続表彰8名,20年勤続表彰15名，松本賞1名決定
RI審査会：松本委員長欠席
選挙管理委員会：宿島委員長欠席
事務所設立推進委員会：伊藤副会長
・4/7　H19年度委員会開催予定
情報管理委員会：前田委員長
・サーバーが,ダウンいたしましたが復旧しました。
＊以上報告について質問がないか伺ったところ
井出理事：HP上の事業報告・役員等が更新されていないが早めに直して下さい
神山理事：19年度事業報告は，一度送ったのですが再度早急に前田さんの方に送ります。
金刺理事：19年度役員が，完全に決定しましたら送ります。
生涯教育委員会：奥川委員長
・3/4　AD 技師格取得認定試験開催
・3/25 放射線機器管理士認定試験開催
・4/21 第1回生涯教育委員会開催予定
・医療学：6/17　7/8　掛川市立病院開催予定
医療安全学：6/24　7/22　8/26 富士市立病院開催
古郡副会長：生涯教育委員会アンケートは，広報しますか
奥川委員長：次号ジャーナルに間に合えば載せて行きたいと思います
医療安全推進委員会：井美委員長
・医療被曝ガイドラインが，改正されたので5月の学術総会で報告したい
⑥ 部会報告(抜粋)
超音波部会：秋山部会長
・H19/2/24 第39回超音波研修会及び第8回乳腺画像部会研修会静岡県教育会館で合同開催
参加64名(総数77名)
・H19/3/18 第25回東海超音波研究会開催
参加 16名
・6/23 第40回超音波部会研修会を7/21に変更
伊藤副会長：第40回超音波部会研修会の変更ですが広報はしますか
秋山部会長：総会資料の郵送時にあわせて広報します
MRI部会：畑部会長
・2/17 第25回MRI部会研修会静岡赤十字病院で開催　参加 55名
・3/20 役員定例会開催
アンギオ部会：井出部会長
・2/10 第24回アンギオ部会研修会沼津市立病院で開催　参加 48名
・6/16 第25回アンギオ部会研修会開催予定
県立総合病院仮設講堂
乳腺画像部会：天野(宜)部会長
・2/24 第39回超音波研修会及び第8回乳腺画像部会研修会　静岡県教育会館で合同開催
参加 77名
・19年度マンモグラフィー事前講習会と更新講習会を同時になるよう11/3,4で調整中です
伊藤副会長：マンモグラフィー事前講習会と更新講習会の広報ですが，4/25の総会資料の発送時に間に合わせていただきたいです。
天野（宜）部会長：できるだけ合わせるようにいたします。
管理士部会：牛場部会長
・3/28 委員会開催
研修会名の変更を4/25の総会資料発送時に広報しようと考えております。
・6/30に管理士セミナー開催予定
・10/6の第4回管理士セミナーを中止して災害緊急時対策委員会と合同で11/25に開催いたします。
・災害緊急時連絡網に関わった人は，放射線管理士の更新時にポイントがつくよう働きかけをしております。

監　事：和田(幸)
・なし
監　事：山本(満)
・なし
事　務：石川
・なし
＊その他について，意見・質問無いか伺ったところ
伊藤副会長：5/26に日本放射線技師会代議員総会が開催されますが会長・副会長を入れ4名が決定されていて後2名常任理事にお願いしておりますが，何かその2名を選出する上で御意見がございましたらお願いいたします。
伊藤副会長：管理士部会の先ほどの11/25の災害時対策委員会との合同開催の件ですが，会計上の支出方法は，部会と委員会と違うのですがどうお考えですか
大川理事：11/25の災害対策研修会は，企画調査委員会と災害対策委員会と管理士部会が，合同で開催しますが管理士部会は，協力をお願いした形で参加していただきますので会計上は，企画調査委員会から静岡県放射線技師会に請求という形になると思います。

3．協議事項

① 18年度事業報告について

(代)伊藤副会長：第32回静岡県放射線技師会通常総会及び第12回静岡県放射線技師術大会に記されている平成18年度事業報告について各理事は，ご確認下さい。
古郡副会長：各理事の方は，御自分の担当部分をご確認後変更点等ございましたら報告下さい。
原田理事：西部地区事業報告の3/3　第3回放射線セミナー・第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会の参加人数を68名から102名に変更して下さい。
＊その他について，意見・質問無いか伺ったところ特になし
＊議長は，承認を諮ったところ，採決の結果全会一致で承認された。

② 18年度決算報告

古郡副会長：18年度決算書が，まだ監査を通っておらず作成されておりませんので後日総務から各理事にむけてメールで決算書を送って頂きその後採決することを提案いたします
＊この方法について，議長は，承認を諮ったところ，採決の結果全会一致で承認された。
庄理事：決算書が，できておりませんが約500万円繰越金がでて事務所繰入金の250万円を差し引いた約250万円が事務所に残ると思います。
古郡副会長：監査は，いつやりますか
庄理事：4/13(金)にやりますので予稿集には，入れられるようにします。
伊藤副会長：本来は，理事会で承認してから監査という形なのかそれとも監査で承認されてから理事会へという形が通常なのかどちらでしょうか
山本(満)監査：監査をしてから理事会で承認という形が，通常ではないかと思います。
神山理事：総務で決算書・特別会計の保存と承認の採決の結果を残しておきます。
古郡副会長：18年度決算書は，メールで採決を諮りますので各理事の方は，よろしくお願いいたします

③ 第32回放射線技師会総会及び第12回静岡県放射線技師学術大会について

山本(英)学術理事：
・日時：H19/5/27(日)
・場所：浜松市地域情報センター
・大会委員長：和田　健
・実行委員長：原田　晴二
・総会運営委員：原田晴二・市川和秀・井出宣孝
・接待渉外：伊藤雅夫・村田憲昭・古郡良三・山本英雄
・総会議長：土屋益男，鈴木和訓
組織図の詳細は，来週西部地区会幹事会が，ございますので完成次第送らせて頂きます。
大会テーマ
『存在意義のある放射線技師を目指して』
金刺理事：4/20(金)会場下見，5/10(木)の常任理事会で原田理事に報告していただきます。
＊議長は，承認を諮ったところ，採決の結果全会一致で承認された。

④ 会費納入状況及び会費未納者の処分について

庶　務：藤原理事
・会員総数 941名 会費納入率96.6%(3/20現在)
東部　289名　会費納入率 94.5%
中部　330名　会費納入率 98.2%
西部　322名　会費納入率 97.2%
・2年会費未納者は，除名扱いとして9名該当
・1年会費未納者29名は，再度会費請求いたします。
・日本放射線技師会より3年以上未納者に対し会員除籍の通知を送付するそうです。
・静岡県放射線技師会は，2年以上で退会扱いとなりますが，日本放射線技師会にあわせ3年

以上を除籍扱いとしたらどうでしょう
＊会費納入状況について，意見・質問無いか伺ったところ
奥川委員長：会員の権利が，日放技は３年で静放技は，発行物が１年で停止となり２年目で退会扱いとなるため１年間の差があるのですが，おかしくならないですか，また除籍の前に権利を剥奪する通知を出した方が良いと思います。
そして未納者に対し書籍・採決権をなくす事を次回理事会で正式決定した方が，良いのではないでしょうか。
現在の定款によると１年未納者に対しては，発行物は停止ですが採決権は，ありますから議案集や総会資料は，送らなければならないと思います。
但し，２年以上未納者の９名は，強制退会処分になります。
藤原理事：３年以上未納者の５名分には，日放技より会員除籍通知が送られていると思います。
前田委員長：ご存じでない会員の方もいるかもしれませんので最終通告の文書を出し退会扱いとした方が，良いのではないですか
伊藤副会長：静放技は，会費未納分を支払ってから本来は退会となります。定款細則は，「会員が２年以上会費を払わない場合は，退会とみなす」とありますが，このことより通知を出して退会扱いとした方が良いと思います。
但し，今回は除籍ですので会費未納分の納入の件は，関係ないと思います。
＊議長は，常任理事会に９名の退会扱いを委ねる事について承認を諮ったところ，採決の結果全会一致で承認された。

⑤ その他

伊藤副会長：日本放射線技師会定款改正はがき回収率の推進についてのお願い
５/20最終〆切ですので各地区会長にむけ，はがき回収推進の文面を総務から送っていただけますでしょうか。
また地区会長は，会員にむけて宣伝してください。
公益社団法人取得にむけ定款改正に御協力をお願いいたします。
前田委員長：日本放射線技師会が，公益社団法人取得にむいていることは，静岡県放射線技師会もそうですか。
伊藤副会長：はい，静岡県放射線技師会もそうです
公益法人の施行日は，H20/12/１で移行期間は，５年間あります。
また，定款改正もやらなくてはならないと思います
＊その他について，意見・質問無いか伺ったところ
奥川委員長：熊谷会長に対する不信任案が提出されていると言われていますが回収率があがらないのは、その影響ですか
伊藤副会長：詳細はわかりませんが，回収率があがらない都道府県もあるみたいです。
３/24全国放射線技師会長会議においても不信任を言われている都道府県もあるそうです。
しかし，会員の２/３以上の表決又は委任状の提出がないと定款改正ができず総会が，開催できなくなると思います。
＊その他について，意見・質問無いか伺ったところ
井出理事：今年度の胃がん助成金は，どうなりましたか。また講演内容に胃がんに関することをしなくてもよろしいのでしょうか。
伊藤副会長：胃がん助成金については，まだ決定していませんので，決定次第お知らせします。
講演内容に関しては，常任理事会で協議してお知らせいたします。
秋山部会長：講演内容の一部に胃に関することをしてその他で会員が，興味を引くようなことをやれば良いと思います。
＊その他について，意見・質問無いか伺ったところ
牛場部会長：災害時連絡網の中に静放技の連絡網の上位にある御前崎総合病院が，入ってなかったですがよろしいですか。
古郡副会長：初期医療の中に入っているため省きました。
牛場部会長：原子力災害に関しては良いのですが，地震等の災害時は困りませんか。
古郡副会長：今年度の災害時連絡網は，作成してしまったので次回に入れるようにしたいと思います。

以上をもって議事全部を終了し，16時45分閉会した

平成19年４月７日

第32回 (社)静岡県放射線技師会通常総会　議事録(抄)

平成19年5月27日(日)
浜松市地域情報センター　1階ホール

《次　第》

1．開会の辞
2．会長挨拶
3．表　　彰
4．議長団選出
5．議　　事
　第1号議案　平成18年度事業報告承認の件
　第2号議案　平成18年度決算報告承認の件
　第3号議案　平成18年度監査報告承認の件
　第4号議案　本部提出議案
　第5号議案　地区提出議案
　第6号議案　そ の 他
6．そ の 他
7．閉会の辞

1．開会の辞

総合司会(原田晴二　総会運営委員長)

定刻になりましたのでご着席下さい。

只今より、社団法人静岡県放射線技師会第32回通常総会を開催いたします。

はじめに、和田会長から挨拶があります。

2．会長挨拶

和田 会長

皆様おはようございます。第32回静岡県放射線技師会通常総会および第12回学術大会を開催するにあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

昨今の医療情勢を考えてみますと、医療崩壊ともいえるマンパワーの不足において厚生労働省はその対応に追われております。これは、新しい医師研修制度ならびに昨年の診療報酬において看護基準の見直しの形で点数化されたため7対1の看護基準をクリアーするのか、或は今後たぶん多くの病院で導入されるDPCに対応するために看護基準を例えば2対1以上に対応する。であれば当然マンパワーの不足が今後も起こってくるのではないかと考えております。

日本医師会の唐沢会長から各都道府県の医師会長宛に「国民医療を守る運動」こそ大事というような通達文章が来ているようです。静岡県の岡田幹夫医師会会長から私どもの(社)静岡県放射線技師会会長宛に是非協力して頂きたい旨の文章も届いており、医療従事者全体の問題として基準看護・DPC等を考えていかないと国民医療を守っていくことから考えて一番いいとされている国民皆保険制度が崩壊してしまうのではないでしょうか。

今、我々放射線技師においてはこのようなマンパワーの不足についての声は、あまり聞かれておりませんがチーム医療の一員としていろいろな形で協力していかなければ患者さんに迷惑を掛けることも予想されます。

また、昨日東京で行われた日本放射線技師会第64回通常総会に提出されているのは、政府の規制改革民間開放推進会議の答申で医療従事者の免許更新制であります。この免許更新制は平成18年度に謳われ、我々日本放射線技師会は平成19年3月の理事会において、厚生労働省にこの免許更新制を更に推進していくように要望しております。

そのような中で日本放射線技師会においては、平成15年からの生涯教育プログラムの技能検定・ADセミナー等はこの免許更新制をにらんで行っていると考えております。

このプログラムを我々が履修し自らが研鑽する中で一番効率の良い高度な技術を患者さんに提供する気持ちは会員全てが持っていると思います。

しかし、静岡県の受講率は10%前後と低く各講習会の参加人数も十数人しかいない状況のものもあ

り、このままでは、免許更新制に生かされない恐れがあります。平成19年度中にはこの免許更新制が5年以内に実施されるのではないかと予想しております。その際受講されていない方は、ある時間数を受講し、それに合格をしていかなければ免許は貰えないと言うような方向になると思われます。是非この辺りのことを考えて生涯教育プログラムに参加をお願いいたします。

そして、このような総会や学術大会の機会を自分自身の放射線技師としての一つの節目と考え、今日得たいろんな学術的知識を明日からの医療に展開し県民が安全な医療を受けられるよう努力する放射線技師であっていただきたいと思っております。会を始めるにあたり挨拶とさせていただきます。

3．表　彰

原田 総合司会

では続きまして表彰に移らせていただきます。小池表彰委員長、進行をお願いいたします。

小池 表彰委員長

只今より永年勤続表彰と松本賞の表彰を行います。名前をお呼びしますのでご起立をお願いします。尚、敬称は省かせていただきます。

《永年勤続20年表彰》　15名

代表　大原　　明（沼津市立病院）

《永年勤続35年表彰》　8名

代表　清水　正義（市立御前崎総合病院）

《松本賞》

秋田富二代（静岡県立静岡がんセンター）

（表彰者別紙参照）

小池表彰委員長より表彰者の発表があり、代表者に和田会長より賞状と記念品が手渡され表彰式が行われた。

4．議長団選出

原田 総合司会

それでは、議事に入りたいと思いますが、議長の選任につきまして、如何取り計らいましょうか。

《　会場より司会者一任の声あり。　》

原田 総合司会

司会者一任の声がありましたので、こちらより指名させて頂きます。それでは、中部地区より共立蒲原総合病院の土屋益男会員、東部地区より富士市立中央病院の鈴木和訓会員、この2名の方にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

5．議　事

土屋 議長

ご指名いただきました私は、共立蒲原総合病院の土屋益男です。よろしくお願いします。

鈴木 議長

富士市立中央病院の鈴木和訓です。よろしくお願いします。

土屋 議長

それでは、本日の第32回通常総会の資格審査を本部より報告お願いします。

市川和秀 総会運営委員

それでは資格審査委員より本日の通常総会成立に関しまして、ご報告いたします。

定款第23条には、現会員数918名の過半数をもって総会の成立が定められております。9時30分現在、出席者69名、表決状524名であり、表決状の数が定款に定められた過半数を満たしておりますので、本総会の成立をここにご報告いたします。

以上です。

土屋 議長

本部より本総会の成立が報告されましたので、これより議事にはいります。議事報告にはいる前に、総会運営委員の任命を致します。

書記

山本　英雄 会員

採決係

市川　和秀 会員

井出　宜孝 会員

議事録署名人

藤原 常任理事

金刺 常任理事

以上よろしくお願いいたします。

進行は総会次第に則り、第1号議案を土屋益男が、第2号議案から第3号議案、第4号議案、第5号議案、第6号議案までを鈴木和訓が担当致します。今年の本総会では、それぞれの議案について質疑応答と表決結果の報告をすることといたします。それでは、平成18年度事業報告をお願いします。

和田 会長

それでは平成18年度の事業報告をさせて頂きます。皆様のお手元に総会議案集を配布しておりますので、それをご覧になり時間の関係でかいつまんでお話をさせて頂きます。総括ですが、先程のあいさつの中でお話した、医療機関におけるマンパワーの問題、それから大小様々なヒューマン・エラーが報道され医療安全管理に関する医療従事者の仕事に対するゆとりとコミニュケーションと日頃の教育も問題であり、一歩踏み込んだ対策が急務であろうと思います。

これについては、今年1月からの医療法の一部改正で医療安全管理者の制度ができておりますので各医療機関で取組んで頂きたいと思います。医療機関においてマンパワーの問題で一部診療科の規模の縮小や休診がでております。県民に対し、十分な診療体系の構築が困難な状況が出てきていますので厚生労働省の早い対策が急務であろうと思います。しかしDPCの導入病院においては若干、経営状況が改善されてきている傾向ですが今後は、外来診療・病棟利用率の問題が出てくるのではないかと考えております。

そして、静岡県放射線技師会の継続事業としては10年後をメドに技師会事務所の購入資金の調達に資金として2000円の徴収を継続的に会員諸氏にお願いしたいと思っております。

総会および学術大会は一日開催としました。

マンモグラフィ撮影技術講習会を静岡県健康福祉部より委託を受けて11月11～12日に静岡県立がんセンターで行われ参加49名、合格率67％でした。

生涯学習プログラムにおいてはAD講習会等を開催いたしましたが、参加者が少なくなってきておりますが、一番フレッシュな情報を患者さんに提供することが我々の使命でもありますので多くの会員の参加をお願いいたします。

主な事業活動といたしまして、第30回社団法人静岡県放射線技師会の通常総会および第11回の放射線技師学術大会を昨年5月28日に東部地区の会員協力により国際医療福祉大学附属熱海病院において、大会テーマを「知性・感性・包容力のある技師をめざして」と銘打った学術大会を開催しております。一般研究発表20題、公開講演は「消化器画像診断の最近の動向」と題して国際医療福祉大学の内科教授の唐澤英偉先生にお願いをしました。

それから第63回の社団法人日本放射線技師会定期総会が平成18年6月2～3日に鈴鹿で行なわれ本県から5名の代議員が出席しております。

また福利厚生関係では、第21回の県親善ソフトボール大会を平成18年10月22日に第一ファルマテックグランドにて行なっております。

それから生涯教育では、看護学、医療安全学、医療学、救急医療学を各地区で利便性を考えて行なっております。

平成18年度の静岡県の原子力防災訓練は、平成19年2月1日に行われ本会より5名の会員が出席しております。

平成18年度中日本地域放射線技師学術大会が平成18年7月15～16日に富山県総合福祉会館で行われ参加者182名で本県より13名の参加がありました。またシンポジウムの「医療被ばく低減についての取り組み（機器と教育についての実践状況報告）」については袋井市民病院の荒井会員にシンポジストをお願いし、CT2セッションの座長は聖隷浜松病院の八木会員を推薦しております。

そのほか静岡ふれあい広場に参加し、第22回全国放射線技師総合学術大会は、平成18年10月6日から9日まで鳥取県米子市コンベンションセンターで行い、日・韓・台学術交流大会との併催も行っております。それから18年度の災害緊急時対策研

修会原子力対策編は、昨年11月26日に静岡県教育会館にて「社団法人兵庫県放射線技師会における災害対策の考え方と取り組み」「静岡県地域防災計画（原子力編の中での静放技の役割)」「東海地震における被害想定について」等についてそれぞれ専門講師の方にご講演をいただいております。
今年に入って、1月21日にグランシップに於きまして新春公開講演会ならびに第15回アール祭を盛大におこなっております。公開講演は「メタボリックシンドロームからあなたを守る緑茶パワー」と題して講師に掛川市立総合病院の副院長、鮫島先生にお願いをしました。その後の教育公演では「DPC最近の話題と今後の方向性」と題して三菱ウェルファーマ株式会社の谷澤先生にご講演をいただいております。
それから第48回東海四県放射線技師合同研究会は平成19年2月18日に名古屋国際会議場にて423名の参加があり非常に盛会に行なっており、本県より54名の参加がありました。シンポジウムの「乳腺の画像診断」では、県立総合病院 赤池会員に出席をお願いし、ランチョンセミナーの「腹部領域の役立つCT画像の使い方」では、藤田保健衛生大学の放射線医学教室の加藤先生にご講演を承っております。そして特別講演では、「技師が理解すべきマンモグラフィのすべて」と題して愛知がんセンター中央病院の堀田先生と「医師はここまで読んでいる」と題して中日病院の森田先生にご講演を承っております。
3月11日には、平成18年度放射線技師研修会をもくせい会館で行ない「放射線技師のミッションとは」と題して、私がミッションとはこうあるべきだと講演をさせていただきましたが、役員を除く参加者は十数人と少なく非常に寂しいかぎりでした。是非多くの会員が機会のあるごとに出席して知識を豊富にしていただきたいと思います。またこの他に「好感／安心感をもたれるマナーについて講義・実習」と題して接遇の面から中北薬品株式会社の北原先生よりご講演を頂いております。
肺がん健診従事者講習会を3月17日に県医師会で「肺がん検診：症例から学ぶ胸部単純写真の読影」と題して静岡県立がんセンターの遠藤先生が講演をされております。
それから各事業並びに各部会も活発に遂行されておりますが、会費納入につきましては、8月31日納入期限と決められておりますが一部の会員に理解されていない面があり会費納入率が下がっております是非納入期限までに納入をするという習慣を持って頂きたいと思います。
また、おめでたいお話でございまして庄賢治名誉会員並びに大石雄史会員に瑞宝双光章が下賜されました。非常に喜ばしいことだと思っております。
平成18年度事業報告の総括を述べましたが、個々の報告につきましては配布しております総会議案集に報告した通りでございます。もしご不明な点がございましたら各担当の方からご回答させていただきます。以上です。

土屋 議長

それでは只今の平成18年度事業報告に対しまして質問がありましたらお願いします。質問者は所属・氏名を述べてからお願いします。何かございませんか。

＜質疑応答＞

北川 会員（藤枝市立総合病院）

会長に質問ですが、日本放射線技師会総会に代議員が5名出ているが、静岡県放射線技師会の方向性をどのように報告しているのか、またその総会から帰ってから静岡県はどのような意思表示をしたのか、またその報告を理事会等でされているのかでしょうか。

和田 会長

そのような関連の質問は、理事会でも出ていますので報告しております。静岡県放射線技師会の方向性は、日本放射線技師会の新学習プログラムに則って、そのプログラムを如何に多くの会員に受けて頂いてその効果をどう患者さんに還元していくかが最大の我々の役割だと思っております。ま

た、熊谷体制の免許更新制を睨んだ教育という面での考え方は間違っていないと理解しております。しかし来年以降は、役員選挙がありますので候補者のマニフェストが出てこない限り何とも言えない部分がありますが、会員が不利益を被らないような形で事業の推進に協力して行くというふうに考えております。また、日本放射線技師会の方向性は、免許更新制をスムーズに行なうため手狭になってきた事務所を一部施設の拡張の形で広くする話しが昨日の総会時にありました。免許更新制を行なうようになればより一層手狭になってまいりますので事務所を整備して免許更新制に備え、熊谷会長をはじめ静岡県でも前向きに考えております。

北川 会員（藤枝市立総合病院）

もう一点、昨日の総会において定款改正はされたのでしょうか。

和田 会長

後ほどその他のところで村田副会長より総会総括の形で報告がありますが、会員の2/3以上の賛成が得られ定款改正が行なわれ、これから諸規定の整備に入って行きます。

土屋 議長

会場で他に何かございませんか。

無いようですので表決に入ります。それでは、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第1号議案の平成18年度事業報告は、否決1名、賛成521名、無効2名です。

よって第1号議案は賛成多数により、可決いたしました。それではここで議長を交代いたします。

鈴木 議長

続きまして、平成18年度決算報告を庄会計理事よりお願いします。

庄 会計理事

議案集を参照してください。

＜収入の部＞

当期収入合計　15,356,129 円

予算額との増減　△ 1,878,129 円（増額）

＜支出の部＞

当期支出合計　12,833,546 円

予算額との増減　▲ 2,444,454 円（減額）

＜特別会計＞

収入合計の決算額　4,636,711 円

予算額との増減　△ 2,221,060 円（増額）

＜財産目録＞

正味財産　24,369,256 円

＜什器備品内訳＞

合計　32,800 円

以上です。

鈴木 議長

続きまして、平成18年度監査報告を和田監事よりお願いします。

和田 監事

＜平成18年度監査報告＞

私共監事は、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの年度における会長提出の事業報告書、収支決算書および財産目録および会計事務取扱規程第31条の会計理事提出の決算書を社団法人静岡県放射線技師会定款第31条および会計事務取扱規程第32条に基づき監査いたしました。

平成18年10月28日　中間監査

平成19年4月13日　年度監査

年2回の監査を実施した結果、適正に処理されていることを、ここに報告いたします。

鈴木 議長

それでは、只今の平成18年度決算報告・平成18年度監査報告に対しまして質問がありましたらお願いします。質問者は所属・氏名を述べてからお願いします。何かございませんか。

鈴木 議長

それでは無いようですので、表決に入りたいと思います。表決ハガキによる採決結果を報告します。

第2号議案の平成18年度決算報告は、否決1名、賛成521名、無効2名です。

第3号議案の平成18年度監査報告は、否決1名、賛成521名、無効2名です。

よって第２号議案・第３号議案は賛成多数により、可決いたしました。
続きまして、本部提出議案は何かございますか。
和田 会長
特にございません。
鈴木 議長
地区提出議案は何かございますか。
各地区会長
特にございません。
鈴木 議長
その他何か審議の必要案件ございましたらお願い致します。無いようでしたら以上をもちまして、第32回通常総会の議事を終了いたします。熱心なご討議ありがとうございました。以上をもちまして議長団を解任させていただきます。どうもありがとうございました。
原田 総合司会
議長団の皆さんご苦労様でした。

６．その他

原田 総合司会
続きまして、ここで昨日行なわれた第64回日本放射線技師会定期総会の報告を村田副会長よりして頂きます。村田副会長宜しくお願いいたします。
村田 副会長
詳細はJARTに記載されると思いますので簡単に報告させて頂きます。第64回日本放射線技師会定期総会が、東京千代田区の星陵会館において昨日５月26日午前10時から午後１時まで行なわれました。本県からは、私と和田会長、伊藤、古郡副会長、金刺、神山常任理事の６名が前日に行われた日本放射線技師会創立60周年記念式典に引き続き出席しました。
小川副会長の開会宣言に始まり、熊谷会長の挨拶、表彰委員会報告がありました。
次に資格審査報告、議事で１号議案の庶務報告、２号議案で事業報告、３号議案で決算報告、４号議案で監査報告が前半としてあり、それぞれ説明、質疑応答の後いずれの議案も賛成多数で可決されました。　後半は、５号議案の事業計画、６号議案で予算案の報告の後質疑応答し採決で可決されました。
７号議案の定款改正について資格審査委員長より報告がありました。定款改正については、会員の２/３以上の出席した総会で、その２/３以上の同意を得、なお厚生労働大臣の許可を得なければこれを変更する事はできません。これに基づき書面表決、委任状にて審査を行ないました。平成19年３月31日現在、平成18年度までの会費完納者は28949名であり総会開催必要数19300票以上なり当日９時現在有効表決数22490票で定款改正のための総会は成立しております。結果

定款改正に賛成	12691票
会長委任	7386票
定款改正に反対	1939票
無効	474票

以上の結果をもって７号議案の定款改正は承認されました。最後に今年度のテーマ「国民から見える職業へ（がん診療のエキスパートとして）」が拍手をもって採択され閉会しました。以上です。
原田 総合司会
ありがとうございました。

７．閉会の辞

原田 総合司会
これをもちまして第32回社団法人静岡県放射線技師会通常総会を終了いたします。長い間、熱心なご討議をいただきましてありがとうございました。この後、引続き学術大会に移らせていただきますが、会場の準備がございますので今しばらくお待ちください。

行事予定カレンダー（平成19年 7月～9月）

7月			8月			9月		
1	㊐		1	水		1	土	第２回　理事会
2	月		2	木		2	㊐	
3	火	第６回　編集委員会:打合せ	3	金		3	月	
4	水		4	土	第１回放射線セミナー・第１回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会（東部地区会）	4	火	第８回　編集委員会:初校
5	木		5	㊐		5	水	
6	金		6	月		6	木	
7	土	第９回　乳腺画像部会研修会 静岡済生会総合病院	7	火		7	金	
8	㊐	ADセミナー「医療学」② 掛川市立総合病院	8	水		8	土	第26回　MR部会研修会
9	月		9	木		9	㊐	
10	火		10	金		10	月	
11	水		11	土		11	火	第９回　編集委員会:２校
12	木	第７回　常任理事会	12	㊐		12	水	
13	金		13	月		13	木	第10回　常任理事会
14	土	第１回放射線セミナー・第１回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会（西部地区会）	14	火		14	金	
15	㊐		15	水		15	土	
16	月	海の日	16	木		16	㊐	第25回　静岡ふれあい広場
17	火		17	金		17	㊊	敬老の日
18	水		18	土		18	火	
19	木		19	㊐		19	水	
20	金		20	月		20	木	
21	土	第40回　超音波部会研修会 静岡済生会総合病院	21	火		21	金	
22	㊐	ADセミナー「医療安全学」② 富士市立中央病院	22	水		22	土	
23	月		23	木	第９回　常任理事会	23	㊐	秋分の日
24	火		24	金		24	㊊	振替休日
25	水		25	土		25	火	
26	木	第８回　常任理事会	26	㊐	ADセミナー「医療安全学」③ 富士市立中央病院	26	水	第10回　編集委員会：発送 ・静岡ジャーナルVol.17 No.2 ・第12回静岡放射線技師学術大会抄録集
27	金		27	月		27	木	第11回　常任理事会
28	土		28	火	第７回　編集委員会：寄稿	28	金	
29	㊐		29	水		29	土	第１回放射線セミナー・第１回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会（中部地区会）
30	月		30	木		30	㊐	
31	火		31	金				

＊　都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌にてご確認ください。

＊　日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

編集後記

＊落ち込んでいます。免許をとって18年余り、初めて貰ってしまいました。青い紙切れを。本日も編集委員会のため事務所に車を走らせていると、混んでいた道の視界が急に開けました。私の意に反して愛車は加速していたようで、気がつくと後ろの車の屋根から赤く光るものが･･･　反省します。（野末）

＊この間、少し前に話題となったもちクリームを静岡パルコで買って食べました。柔らかいもちの中にいろいろな味のクリームがあり、本当に噂通り美味しかったです。１個158円ですが、皆さん買って食べてみては、いかがですか？特に女性の贈り物には最適ですよ。（神山）

＊今年も始まったばかりかと思っていたら、もう半分が過ぎてしまいました。　皆さん、そう感じている方も意外と多いのでは・・・（笑）　この分では、あっという間にお正月がきてしまいそうです！仕事もプライベートも、無駄な日を送らない様に心掛けていこうと改めて思う今日この頃です！！今年も１年、編集の為に技師会事務所通いを頑張ります！（井上）

＊編集委員の皆さん今回も編集作業お疲れ様でした。今回は今までの担当原稿とは違って、初めて担当するものがあったため少しとまどってしまいました。あまり役に立っていないのですが、次回も頑張ります。よろしくお願いします。（橋本）

＊新年度に入り、公私共に超忙しくなってしまいました。夜勤も増え、６月上旬においては研究会・結婚式・田植えなど三つ以上が重なる週末でした。今回の編集作業もまた編集委員長に助けられました。早くひとり立ちしたい昔ながらの編集委員です。（三輪）

＊編集委員を請けまして、２年目となりました。少しゆとりができたので、金沢の学術大会に参加してきました。金沢はいいところですねぇー、酒がおいしく海の幸もうまいですねぇー、今度はゆっくりと観光地を巡ってみたいですね！森さん！。（加藤久）

＊最近運動不足のため、昔やっていたバレーボールをはじめましたが、手は痛いし、筋肉痛は二日後、三日後にくるし、散々です。これも今まで怠けていた為ですが、少しずつ頑張っていきたいです。（溝口）

＊メタボ通信：ヘルニアが悪化し坐骨神経痛に苦しんでいた僕は、ついに意を決して仙骨列孔ブロック２回、硬膜外ブロック２回、そして神経根ブロックも２回やりました。Ｓ１は的中したけどＬ４／５は外れた。痛い！めっちゃ痛い！マジ痛いっす！でも、少しは楽になりました。只今減量中の俺、続く。マタニティー通信：29周目1,300gになりました。順調です！嬉しいです！つっつくと生意気にパンチ返してきます。わんぱく坊主でも、やんちゃ娘でも、元気ならどっちでもいいよ。（加藤和）

会誌「しずおかジャーナル」Vol.17　No.1　2007　　平成19年６月27日発行

発行所　：　〒420－0839　静岡市葵区鷹匠２丁目３－２　サンシティ鷹匠601号
社団法人　静　岡　県　放　射　線　技　師　会
発行人　：　和　田　　健
編集者　：　野　末　恭　弘
印刷所　：　〒420－0876　静岡市葵区平和一丁目２－11
（株）六　幸　堂　TEL(054)254－1188　FAX(054)254－0586

事　務　所　案　内

執務時間：月曜日～金曜日　午前10時より午後１時まで。　TEL(054)251－5954
執務時間外は、留守番電話にてお受けいたします。　FAX(054)251－9690

E－mail address：shizuhogi@mc.neweb.ne.jp